2021 年度
SYLLABUS
（2019 年度以前入学生用）

専門学校 川崎リハビリテーション学院

理学療法学科・作業療法学科

目　次

履修内容

理学療法学科授業科目及び単位数 …… 1
作業療法学科授業科目及び単位数 …… 3

基礎分野

統計学 …… 6
生物学 …… 7
医学英語 …… 8
総合科学Ⅰ …… 9
総合科学Ⅱ …… １０
運動学序論 …… １１
臨床心理学 …… １２
生命倫理学 …… １３
公衆衛生学 …… １４
保健体育実習 …… １５

専門基礎分野

解剖学Ⅰ …… １７
解剖学Ⅱ …… １８
解剖学Ⅲ …… １９
解剖学実習Ⅰ …… ２０
解剖学実習Ⅱ …… ２１
生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ …… ２２
生理学実習 …… ２３
運動生理学 …… ２４
神経生理学 …… ２５
運動学 …… ２６
運動学実習 …… ２７
人間発達学 …… ２８
病理学 …… ２９

リハビリテーション医学Ⅰ …… ３０
リハビリテーション医学Ⅱ …… ３１
神経内科学Ⅰ …… ３２
神経内科学Ⅱａ …… ３３
神経内科学Ⅱｂ …… ３４
整形外科学Ⅰ …… ３５
整形外科学Ⅱ …… ３８
精神医学Ⅰ・Ⅱ …… ４１
脳神経外科学 …… ４２
内科学Ⅰ／呼吸器内科 …… ４３
内科学Ⅰ／循環器内科 …… ４４
内科学Ⅰ／消化器内科 …… ４５
内科学Ⅱ／血液内科 …… ４６
内科学Ⅱ／泌尿器科 …… ４７
内科学Ⅱ／内分泌代謝 …… ４８
一般臨床医学 …… ４９
小児科学 …… ５０
老年医学 …… ５１
リハビリテーション概論 …… ５２
理学療法概論／作業療法概論 …… ５３
言語療法概論 …… ５４

専門分野　理学療法学科

理学療法概論 …… ５６
基礎理学療法Ⅰ …… ５７
基礎理学療法Ⅱ …… ５８
基礎理学療法Ⅲ …… ５９
基礎理学療法演習 …… ６０
臨床運動学 …… ６１
評価学Ⅰ …… ６２
評価学Ⅱ …… ６３
評価学Ⅲ …… ６４
評価学基礎実習 …… ６５

運動療法学 …… ６６
運動療法基礎実習 …… ６７
治療学Ⅰ …… ６８
治療学Ⅱ …… ６９
治療学Ⅲ …… ７０
治療学Ⅳ …… ７１
治療学Ⅴ …… ７２
治療学Ⅵ …… ７３
治療学Ⅶ …… ７４
治療学Ⅷ …… ７５
治療学Ⅸ …… ７６
治療学Ⅹ …… ７７
治療学Ⅺ …… ７８
治療学演習 …… ７９
物理療法学 …… ８０
日常生活活動学 …… ８１
日常生活活動基礎実習 …… ８２
義肢装具学 …… ８３
地域リハビリテーションⅠ …… ８４
地域リハビリテーションⅡ …… ８５
臨床見学実習 …… ８６
臨床実習Ⅰ …… ８７
臨床実習Ⅱ …… ８８
臨床実習特論 …… ８９

専門分野　作業療法学科

作業療法概論Ⅰ …… ９１
作業療法概論Ⅱ …… ９２
基礎作業学講義 …… ９３
基礎作業学実習 …… ９４
評価学Ⅰ …… ９５
評価学Ⅱ …… ９６
評価学Ⅲ …… ９７

評価学基礎実習 …… ９８
精神障害治療学Ⅰ …… ９９
精神障害治療学Ⅱ …… １００
精神障害治療学Ⅲ …… １０１
身体障害治療学Ⅰ …… １０２
身体障害治療学Ⅱ …… １０３
身体障害治療学Ⅲ …… １０４
身体障害治療学Ⅳ …… １０５
身体障害治療学Ⅴ …… １０６
身体障害治療学Ⅵ …… １０７
発達障害治療学 …… １０８
日常生活活動学 …… １０９
日常生活活動基礎実習 …… １１０
技術論実習 …… １１１
義肢装具学 …… １１２
運動療法学 …… １１３
地域リハビリテーションⅠ …… １１４
地域リハビリテーションⅡ …… １１５
地域リハビリテーションⅢ …… １１６
臨床見学実習 …… １１７
臨床実習Ⅰ …… １１８
臨床実習Ⅱ …… １１９
臨床実習特論 …… １２０

学則外科目

作業療法研究法 …… １２２

理学療法学科授業科目及び単位数

授業科目		計		第１学年		第２学年		第３学年	
		単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
基礎分野	統計学	1	15	1	15				
	生物学	2	30	2	30				
	医学英語	1	15	1	15				
	総合科学Ⅰ	2	30	2	30				
	総合科学Ⅱ	2	30	2	30				
	運動学序論	2	30	2	30				
	臨床心理学	2	30	2	30				
	生命倫理学	1	15	1	15				
	公衆衛生学	1	15			1	15		
	保健体育実習	1	45	1	45				
	（小計）	15	255	14	240	1	15	0	0
専門基礎Ⅰ	解剖学Ⅰ	1	30	1	30				
	解剖学Ⅱ	1	30	1	30				
	解剖学Ⅲ	1	30	1	30				
	解剖学実習Ⅰ	1	45	1	45				
	解剖学実習Ⅱ	1	45			1	45		
	生理学Ⅰ	1	30	1	30				
	生理学Ⅱ	1	30	1	30				
	生理学Ⅲ	1	30	1	30				
	生理学実習	1	45			1	45		
	運動生理学	1	30	1	30				
	神経生理学	1	30	1	30				
	運動学	1	30	1	30				
	運動学実習	1	45			1	45		
	人間発達学 ＊	1	30	1	30				
	（小計）	14	480	11	345	3	135	0	0
専門基礎Ⅱ	病理学 ＊	1	30			1	30		
	リハビリテーション医学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	リハビリテーション医学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	神経内科学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	神経内科学Ⅱ ＊	1	30			1	30		
	整形外科学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	整形外科学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	精神医学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	精神医学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	脳神経外科学 ＊	1	15			1	15		
	内科学Ⅰ ＊	1	30			1	30		
	内科学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	一般臨床医学 ＊	1	30			1	30		
	小児科学 ＊	1	15			1	15		
	老年医学	1	15			1	15		
	（小計）	15	285	0	0	15	285	0	0
専門基礎Ⅲ	リハビリテーション概論 ＊	1	30	1	30				
	作業療法概論 ＊	1	30	1	30				
	言語療法概論 ＊	1	15	1	15				
	（小計）	3	75	3	75	0	0	0	0

＊ 印は「実務経験のある教員による授業科目」を表す

授業科目				計		第１学年		第２学年		第３学年	
				単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	＊	1	30	1	30				
		基礎理学療法Ⅰ	＊	1	15	1	15				
		基礎理学療法Ⅱ	＊	1	15	1	15				
		基礎理学療法Ⅲ	＊	1	15	1	15				
		基礎理学療法演習	＊	1	30	1	30				
		臨床運動学	＊	1	15			1	15		
		（小計）		6	120	5	105	1	15	0	0
	理学療法評価学	評価学Ⅰ	＊	2	30	2	30				
		評価学Ⅱ	＊	1	30	1	30				
		評価学Ⅲ	＊	1	30	1	30				
		評価学基礎実習	＊	1	45	1	45				
		（小計）		5	135	5	135	0	0	0	0
	理学療法治療学	運動療法学	＊	2	30			2	30		
		運動療法基礎実習	＊	1	45			1	45		
		治療学Ⅰ	＊	1	30			1	30		
		治療学Ⅱ	＊	1	15			1	15		
		治療学Ⅲ	＊	1	30			1	30		
		治療学Ⅳ	＊	1	30			1	30		
		治療学Ⅴ	＊	1	30			1	30		
		治療学Ⅵ	＊	1	15			1	15		
		治療学Ⅶ	＊	1	30			1	30		
		治療学Ⅷ	＊	1	30			1	30		
		治療学Ⅸ	＊	1	15			1	15		
		治療学Ⅹ	＊	1	30			1	30		
		治療学Ⅺ	＊	1	30			1	30		
		治療学演習	＊	1	30			1	30		
		物理療法学	＊	2	30			2	30		
		日常生活活動学	＊	2	30	2	30				
		日常生活活動基礎実習	＊	1	45			1	45		
		義肢装具学	＊	1	30			1	30		
		（小計）		21	525	2	30	19	495	0	0
	地域理学療法学	地域リハビリテーションⅠ	＊	2	30	2	30				
		地域リハビリテーションⅡ	＊	2	30			2	30		
		（小計）		4	60	2	30	2	30	0	0
	臨床実習	臨床見学実習	＊	1	45	1	45				
		臨床実習Ⅰ	＊	3	135			3	135		
		臨床実習Ⅱ	＊	18	900					18	900
		臨床実習特論	＊	2	30					2	30
		（小計）		24	1110	1	45	3	135	20	930
合計				107	3045	43	1005	44	1110	20	930

＊ 印は「実務経験のある教員による授業科目」を表す

作業療法学科授業科目及び単位数

	授業科目	計		第１学年		第２学年		第３学年	
		単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
基礎分野	統計学	1	15	1	15				
	生物学	2	30	2	30				
	医学英語	1	15	1	15				
	総合科学Ⅰ	2	30	2	30				
	総合科学Ⅱ	2	30	2	30				
	運動学序論	2	30	2	30				
	臨床心理学	2	30	2	30				
	生命倫理学	1	15	1	15				
	公衆衛生学	1	15			1	15		
	保健体育実習	1	45	1	45				
	(小計)	15	255	14	240	1	15	0	0
専門基礎Ⅰ	解剖学Ⅰ	1	30	1	30				
	解剖学Ⅱ	1	30	1	30				
	解剖学Ⅲ	1	30	1	30				
	解剖学実習Ⅰ	1	45	1	45				
	解剖学実習Ⅱ	1	45			1	45		
	生理学Ⅰ	1	30	1	30				
	生理学Ⅱ	1	30	1	30				
	生理学Ⅲ	1	30	1	30				
	生理学実習	1	45			1	45		
	運動生理学	1	30	1	30				
	神経生理学	1	30	1	30				
	運動学	1	30	1	30				
	運動学実習	1	45			1	45		
	人間発達学 ＊	1	30	1	30				
	(小計)	14	480	11	345	3	135	0	0
専門基礎Ⅱ	病理学 ＊	1	30			1	30		
	リハビリテーション医学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	リハビリテーション医学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	神経内科学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	神経内科学Ⅱ ＊	1	30			1	30		
	整形外科学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	整形外科学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	精神医学Ⅰ ＊	1	15			1	15		
	精神医学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	脳神経外科学 ＊	1	15			1	15		
	内科学Ⅰ ＊	1	30			1	30		
	内科学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
	一般臨床医学 ＊	1	30			1	30		
	小児科学 ＊	1	15			1	15		
	老年医学	1	15			1	15		
	(小計)	15	285	0	0	15	285	0	0
専門基礎Ⅲ	リハビリテーション概論 ＊	1	30	1	30				
	理学療法概論 ＊	1	30	1	30				
	言語療法概論 ＊	1	15	1	15				
	(小計)	3	75	3	75	0	0	0	0

＊ 印は「実務経験のある教員による授業科目」を表す

授業科目			計		第１学年		第２学年		第３学年	
			単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論Ⅰ ＊	2	30	2	30				
		作業療法概論Ⅱ ＊	2	30			2	30		
		基礎作業学講義 ＊	1	30	1	30				
		基礎作業学実習 ＊	1	45	1	45				
		（小計）	6	135	4	105	2	30	0	0
	作業療法評価学	評価学Ⅰ ＊	2	30	2	30				
		評価学Ⅱ ＊	1	30	1	30				
		評価学Ⅲ ＊	1	15	1	15				
		評価学基礎実習 ＊	1	45	1	45				
		（小計）	5	120	5	120	0	0	0	0
	作業療法治療学	精神障害治療学Ⅰ ＊	2	30	2	30				
		精神障害治療学Ⅱ ＊	1	30			1	30		
		精神障害治療学Ⅲ ＊	1	30			1	30		
		身体障害治療学Ⅰ ＊	2	30			2	30		
		身体障害治療学Ⅱ ＊	1	15			1	15		
		身体障害治療学Ⅲ ＊	1	15			1	15		
		身体障害治療学Ⅳ ＊	1	30			1	30		
		身体障害治療学Ⅴ ＊	1	30			1	30		
		身体障害治療学Ⅵ ＊	1	30			1	30		
		発達障害治療学 ＊	2	30			2	30		
		日常生活活動学 ＊	2	30	2	30				
		日常生活活動基礎実習 ＊	1	45			1	45		
		技術論実習 ＊	1	45			1	45		
		義肢装具学 ＊	1	30			1	30		
		運動療法学 ＊	2	30			2	30		
		（小計）	20	450	4	60	16	390	0	0
	地域作業療法学	地域リハビリテーションⅠ ＊	2	30	2	30				
		地域リハビリテーションⅡ ＊	2	30			2	30		
		地域リハビリテーションⅢ ＊	1	15			1	15		
		（小計）	5	75	2	30	3	45	0	0
	臨床実習	臨床見学実習 ＊	1	45	1	45				
		臨床実習Ⅰ ＊	5	225			5	225		
		臨床実習Ⅱ ＊	18	900					18	900
		臨床実習特論 ＊	2	30					2	30
		（小計）	26	1200	1	45	5	225	20	930
合計			109	3075	44	1020	45	1125	20	930

＊ 印は「実務経験のある教員による授業科目」を表す

基 礎 分 野

□ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
統計学	講義	1年次・2学期	1(15)

担当者

小林 文美子

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

臨床場面や研究における結果解釈、論文の内容吟味などに最低限必要となる基本的な統計学の知識を習得する。

講義概要

医療と福祉の分野で必要な統計学の基礎を学習します。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	データーの種類と記述	講義
2)	母集団と確率分布	〃
3)	標本の分布	〃
4)	母平均と母比率の推定	〃
5)	統計的仮説検定	〃
6)	平均値に関する検定	〃
7)	比率に関する検定(1)	〃
8)	比率に関する検定(2)	〃
9)	適合度・独立性の検定(1)	〃
10)	適合度・独立性の検定(2)	〃
11)	相関係数(1)	〃
12)	相関係数(2)	〃
13)	ノンパラメトリック法(1)	〃
14)	ノンパラメトリック法(2)	〃
15)	その他の統計学的分析(概略)	〃

成績評価方法

筆記試験

教科書・授業資料

玉井栄一・他：医学・保健学のためのやさしい統計学. 第3版, 金原出版, 2013.

参 考 書

丹波俊郎(監)：新版医療統計の基礎と実際. 秀潤社, 2003.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

□ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
生物学	講義	1年次・1〜3学期	2(30)

担当者

西松 伸一郎・小島 史也・後川 潤

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

ヒトの体を構成する約 60 兆個の細胞は、ただ 1 つの細胞である受精卵から生じる。
人体の構造および疾病の成り立ちを学び、説明できるようにする。

講義概要

人体発生、遺伝現象、生体防御のしくみを学ぶことにより、病気の成り立ちと回復過程を理解するために必要な知識を習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	発生のしくみ - 受精から原腸形成まで -	講義
2)	発生のしくみ - 中胚葉の発生・分化 -	〃
3)	発生のしくみ - 外胚葉の発生・分化 -	〃
4)	発生のしくみ - 内胚葉の発生・分化 -	〃
5)	発生のしくみ - 幹細胞の増殖・分化 -	〃
6)	遺伝のしくみ - 減数分裂（1）-	〃
7)	遺伝のしくみ - 減数分裂（2）-	〃
8)	遺伝のしくみ - 遺伝の法則（1）-	〃
9)	遺伝のしくみ - 遺伝の法則（2）-	〃
10)	遺伝のしくみ - セントラルドグマ -	〃
11)	生体防御のしくみ - 免疫とその種類 -	〃
12)	生体防御のしくみ - 自然免疫と生体防御 -	〃
13)	生体防御のしくみ - 獲得免疫と生体防御 -	〃
14)	生体防御のしくみ - 免疫のよる不利益 -	〃
15)	生体防御のしくみ - 医療における免疫の利用 -	〃

成績評価方法

筆記試験

教科書・授業資料

D. サダヴァ・他：カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第 3 巻 分子生物学. 講談社, 2010.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
医学英語	講義	1年次・1学期	1(15)

担当者
松本 晋輔・松本 琢磨・村上 朋彦

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

医学英語に親しみ、医学で使用される頻度の高い英語の語彙を増やす。

講義概要

医学で使用される英単語を学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	医学英語の成り立ち、よく使われる接頭語	講義
2)	よく使われる接頭語	〃
3)	リハビリテーションに必要な英単語 ① 身体部位、骨・関節	〃
4)	リハビリテーションに必要な英単語 ② 運動方向、筋	〃
5)	リハビリテーションに必要な英単語 ③ 職種名、運動学・歩行、日常生活動作、リハビリテーション治療	〃
6)	リハビリテーションに必要な英単語 ④ 呼吸・循環、成長・発達、診断、脳脊髄疾患、脊椎疾患、神経筋疾患	〃
7)	リハビリテーションに必要な英単語 ⑤ 骨関節疾患、切断、循環器・呼吸器疾患、内分泌・代謝疾患	〃
8)	リハビリテーションに必要な英単語 ⑥ 運動障害、疼痛、高次脳機能障害・言語、摂食・嚥下、排泄	〃

成績評価方法
筆記試験（毎回講義時に小テストを実施）

教科書・授業資料
配布資料

参 考 書
英和・和英辞書（電子辞書可）

準備学習等

担当者からのメッセージ
医学英語の単語とともにリハビリテーションに必要な英語表現も学びます。グローバル化している現代において必須の講義となりますのでしっかりと学んで下さい。

担当教員への連絡法
教員室を訪ねて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
総合科学 I	講義	1年次・1学期	2(30)

担当者
村上 朋彦・矢吹 眞弓

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

学習方法と学習習慣を身につける。
運動学、運動力学の基礎を理解する。

講義概要

専門分野の学習が始まるにあたり、自己を振り返り、何を目指し何が必要かを考えるところから始める。学習会では日頃の学習を振り返り、学生自身で問題の解決を探る。さらに力学の基礎を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	勉強の仕方	講義と演習
2)	スケジュールの立て方	〃
3)	目標の明確化（自己分析）	〃
4)	目標の明確化，価値感	〃
5)	文章の書き方（基本編）	〃
6)	文章の書き方（統合と解釈）	〃
7)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（時間と空間）	〃
8)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（運動面と運動軸）	〃
9)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（変位・速度・加速度）	〃
10)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（筋力と重力）	〃
11)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（ベクトル）	〃
12)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（モーメント）	〃
13)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（重心）	〃
14)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（運動法則）	〃
15)	学習会　/　理学療法・作業療法に必要な運動力学（仕事）	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
中村隆一・他：基礎運動学. 第6版, 医歯薬出版, 2003.
外山滋比古：忘れる力 思考への知と条件. さくら舎, 2015.

参 考 書

準備学習等

日々の講義の復習をしてください。

担当者からのメッセージ

理学療法士・作業療法士は常に学ぶ必要があります。その土台作りを目指します。

担当教員への連絡法

教員室を訪ねて下さい。

基礎分野　　□ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
総合科学Ⅱ	講義	1年次・1学期	2(30)

担当者
有安 芽衣・常久 謙太郎・松田 英希

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

社会人として必要な接遇や傾聴の方法を知り、実践に結びつけられる。
臨床場面を想定して患者の様子を観察し、記録・考察できる。

講義概要

・コミュニケーションスキルについて観察・グループ活動等を通じて考え実践する。
・臨床場面での観察のポイントやその基礎となる用語を学びビデオ教材を用いて練習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	オリエンテーション、自分自身の目標設定	グループワーク
2)	接遇①演習：あいさつ	〃
3)	接遇②演習：報告・連絡・相談、敬語	〃
4)	接遇③演習：言葉以外での発信（表情、身なり、態度）	〃
5)	接遇④演習：コミュニケーション実践	グループワーク
6)	接遇⑤テスト：模擬患者への対応	テスト
7)	観察と表現①観察のポイントー見学ノートの書き方ー	グループワーク
8)	観察と表現②姿勢や動作の違いを探す	〃
9)	観察と表現③観察から考える	〃
10)	まとめる力と表現①	〃
11)	まとめる力と表現②	〃
12)	グループワーク	〃
13)	テスト	テスト
14)		
15)		

成績評価方法
出席状況、テスト、課題の合計。再試験は不可能です。

教科書・授業資料
配布資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ
学生として様々な立場の人と接するようになりますが、相手に好印象を持ってもらえるようにしましょう。
今まで強く求められることがなかった「社会人として必要な基本的態度」を身につけてください。

担当教員への連絡法
声をかけてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
運動学序論	講義	1年次・2学期	2(30)

担当者
村上 朋彦

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

理学療法士・作業療法士として必要な人の運動や行動に対する分析力を高めるための基礎知識を習得する。

講義概要

運動力学、姿勢制御、歩行、運動学習について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	運動学習 -1	講義
2)	運動学習 -2	〃
3)	運動学習 -3	〃
4)	運動学習 -4	〃
5)	運度処方、運動分析	〃
6)	力学・運動学の基礎	〃
7)	運動器の構造の機能 -1	〃
8)	運動器の構造の機能 -2	〃
9)	姿 勢 -1	〃
10)	姿 勢 -2	〃
11)	姿 勢 -3	〃
12)	姿 勢 -4	〃
13)	歩 行 -1	〃
14)	歩 行 -2	〃
15)	歩 行 -3	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

中村隆一・他：基礎運動学. 第6版，医歯薬出版, 2003.

参 考 書

準備学習等

解剖学（筋骨格系，神経系），生理学（筋，神経，呼吸，循環）を復習しておくとよいでしょう。

担当者からのメッセージ
臨床の現場で少しでも患者さんのことが理解できるように、その手助けをしたいと思います。しかし、学ぶのはあなたです。教科書を読みましょう。

担当教員への連絡法

声をかけてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床心理学	講義	1年次・2学期	2(30)

担当者
池内 由子

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

対人援助職に必要な心理学的知識を習得し、対象者の心理学的理解、援助に役立てる。

講義概要

・対象者の心理学的援助に必要な基礎理論や各種心理テストの概略、および治療理論について学ぶ。
・＜こころ＞の発達と適応機制、ストレスと心身との関係について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1.総論	講義
1) 2)	・歴史、防衛機制と転移、学習・記憶・行動	〃
3) 4)	・児童・青年期心理、成人・高齢者心理、障害者心理	〃
5) 6)	2.心理検査	〃
	・知能検査（ビネー式、ウエクスラー式、MMSE、HDS-R、コース立方体　他）	
7) 8)	・人格検査（Y-G、MMPI、TEG、MPI、ロールシャッハ、TAT、SCT、P-Fスタディ、バウムテスト、HTP、風景構成法、内田クレペリン検査　他）	〃
9) 10)	3.カウンセリング	〃
	・精神分析的心理療法	
11) 12)	・ユング派の心理療法	〃
13) 14)	・クライエント中心療法	〃
15)	・認知行動療法　　他	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

下山晴彦：よくわかる臨床心理学 やわらかアカデミズム〈わかる〉シリーズ. 改訂新版, ミネルバ書房, 2009.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

□ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
生命倫理学	講義	1年次・3学期	1(15)

担当者
行安　茂

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

・医療、保健、福祉をめぐる倫理的問題に気付くことができる。
・健全で倫理的な意思決定に必要な倫理学的視点を習得する。

講義概要

医療、保健、福祉をめぐる最新のトピックスから、倫理的問題について考える。「医の倫理」や倫理原則、インフォームドコンセントについての理解を深め、将来の臨床に必要な倫理学的視点を養う。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	1.倫理とは	講義
	2.バイオエシックス（生命倫理）とは	〃
3)～	・「医の倫理」とバイオエシックスの歴史	〃
5)～	（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言　他）	〃
8)～	・倫理原則…自律の尊重、無危害、善行、正義	〃
10)～	3.インフォームドコンセント	〃
13)～	4.最近のトピックス…延命治療、臓器移植、遺伝子検査　など	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

行安 茂：生命倫理の問題と人間の生き方. 北樹出版, 2000.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
公衆衛生学	講義	2年次	1(15)

担当者

大槻 剛巳・武井 直子・李 順姫

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

1.公衆衛生学の重要性を理解する。
2.公衆衛生学の基礎を理解できるよう具体的に学び、公衆衛生学の全体像を把握する。

講義概要

一人ひとりが有する健康障害に対して個別に対応していく臨床医学とは異なり、公衆衛生学は、人口の集団（例えば、倉敷市民、岡山県民、日本国民ひいては全世界の人々）が、現在抱えている健康の問題に対して、予防を以てそれらの健康障害が減じていくことの、考え方や手法を学ぶ領域である。医学医療福祉に携わるすべての人たちに重要な概念であり、これをわかりやすく解説していく。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	公衆衛生総論	講義
2)	健康と環境、疫学的方法	〃
3)	健康の指標	〃
4)	生活環境の保全	〃
5)	感染症の現状	〃
6)	感染症の予防	〃
7)	医療制度	〃
8)	地域保健、学校保健	〃
9)	母子保健の現状	〃
10)	これからの母子保健	〃
11)	食品保健	〃
12)	栄養と公衆衛生	〃
13)	生活習慣病と難病	〃
14)	健康教育、精神保健	〃
15)	産業保健	〃

成績評価方法

筆記試験

教科書・授業資料

清水忠彦・他：わかりやすい公衆衛生学. 第４版, ヌーヴェルヒロカワ, 2015.

参 考 書

鈴木庄亮・他：シンプル衛生公衆衛生学2016. 南江堂, 2016.

準備学習等

教科書を読みましょう。

担当者からのメッセージ

病者のみならず、健常者にも心を向けてみましょう。

担当教員への連絡法

takemi@med.kawasaki-m.ac.jp

科目名	保健体育実習	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		実技	1年次・1,2学期	1(45)

担当者
門利 知美

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標
運動・スポーツを通して、他者に対する共感や思いやり、協調性を学び、今後の生活に活かす基礎を培う。自らの心身を適切に管理し、生涯にわたり健康・体力づくりを実践していく力を養う。ひいては、人々の健康増進に貢献する意気を習得する。

講義概要

「レクリエーション」、「スポーツ」、「フィットネス」のカテゴリーにわけ、実施する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1. レクリエーション ペタンク バウンドテニス ソフトバレーボール インディアカ　　など 2. スポーツ バレーボール バスケットボール バドミントン 卓球　　など 3. フィットネス 体つくり運動 ウォーキング・ジョギング レジスタンス運動 エアロビックダンス　　など	実技

成績評価方法
実習点（60 %）、受講態度（40 %）から評価する。

教科書・授業資料
なし。

参 考 書
なし。必要に応じてプリントを配布する。

準備学習等
運動に適した服装を着用し、体育館シューズを持参すること。他者への配慮や安全管理上、ピアス・ネックレスなどの金属類は外して受講すること。日頃から健康管理に努め、体調を整えておくこと。

担当者からのメッセージ
可能な範囲で基礎体力を高めておいてください。また、習得した運動（ストレッチング、レジスタンス運動など）を自宅等でできるだけ実践しましょう。

担当教員への連絡法
リハビリ学院事務室にて連絡先をきき、連絡をとって下さい。

専 門 基 礎 分 野

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
解剖学 I	講義	1年次・1学期	1(30)

担当者
金丸 詩門・西谷 春彦

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

人体の構造の中で筋骨格系を中心に、各部位の形態について理解する。

講義概要

講義を通じ、人体の構造における筋骨格系を中心に、各部位の形態について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	骨格系総論（定義・骨の分類）	講義
2)	骨の構造・骨の発生と成長	〃
3)	関節の分類・関節の構造	〃
4)	椎間板の構造・脊柱の靭帯	〃
5)	上肢骨の靭帯・下肢骨の靭帯	〃
6)	骨格系各論（頭蓋・脊柱）	〃
7)	骨格系各論（胸郭・上肢骨・下肢骨）	〃
8)	筋系総論（筋の構造・形状・神経）	〃
9)	筋系各論（顔面筋・頚部）	〃
10)	筋系各論（背部・胸部・腹部）	〃
11)	筋系各論（背部・胸部・腹部）	〃
12)	筋系各論（背部・胸部・腹部）	〃
13)	筋系各論（上肢・下肢）	〃
14)	筋系各論（上肢・下肢）	〃
15)	筋系各論（上肢・下肢）	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

金子 丑之助・原著：日本人体解剖学 上巻 骨格系・筋系・神経系. 第19版, 南山堂, 2000.

参 考 書
伊藤 隆・原著：解剖学講義. 第３版, 南山堂, 2012.
坂井 建雄・監訳：プロメテウス解剖学 コア アトラス. 第3版, 医学書院, 2019.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
解剖学Ⅱ	講義	1年次・1学期	1(30)

担当者
野津 英司

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

人体の構造の中で内臓器を中心に、各部位の形態・機能について理解する。

講義概要

循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿器系・内分泌系・感覚器系の構造・機能について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	循環器系　総論；定義・循環器系の構成・リンパ系	講義
2)	各論；①心臓；定義・位置と形態・内景，外景・刺激伝導系	〃
3) 4)	②体循環—動脈系；動脈の構造・上行大動脈，大動脈弓・下行大動脈・	〃
5)	腕頭動脈・脳へ分岐する動脈・脳と脊髄の動脈・	〃
6)	腹部の動脈・上肢の動脈・下肢の動脈	〃
7)	③体循環—静脈系；静脈の構造・大静脈・上肢の静脈・下肢の静脈	〃
8)	呼吸器系　総論；定義・呼吸器系の構成	〃
9)	各論；鼻，咽頭・喉頭・気管，気管支・肺	〃
10)	消化器系　総論；定義・呼吸器系の構成・消化器系の区分	〃
11) 12)	各論；口腔，歯，舌・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・肝臓，膵臓・脾臓	〃
13)	泌尿器系　各論；男性器，女性器・腎臓・尿管・膀胱	〃
14)	内分泌系　各論；下垂体・松果体・甲状腺・副甲状腺・副腎	〃
15)	感覚器系　各論；視覚器・平衡聴覚器・嗅覚器・味覚器・外皮	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

金子 丑之助・原著：日本人体解剖学 下巻 循環器系・内臓学・感覚器. 第19版, 南山堂, 2000.

参 考 書
坂井 建雄・監訳：プロメテウス解剖学 コア アトラス. 第3版, 医学書院, 2019.
伊藤 隆・原著：解剖学講義. 第３版, 南山堂, 2012.
藤田 恒夫・著：入門人体解剖学. 第５版, 南江堂, 2012.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
解剖学Ⅲ	講義	1年次・2学期	1(30)

担当者
新井 伸征

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

人体の機能の中で神経系を中心に、各神経の構造・機能・支配について理解する。

講義概要

神経系の構造と機能を学び、運動系及び内臓系における神経系の役割について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	総論　定義・神経系の分類・中枢神経の構造と区分・末梢神経の構造と区分	講義
	・髄液還流・中枢神経系内の伝導路・脳神経	
2)	各論①中枢神経系　1）脊髄；定義・内景と外景・脊髄における伝導路	〃
3)	2）延髄；定義・内景と外景・延髄を経由する伝導路	〃
4)	3）橋　；定義・内景と外景・橋を経由する伝導路	〃
5)	4）中脳；定義・内景と外景・中脳を経由する伝導路	〃
6)	5）小脳；定義・内景と外景・小脳脚・小脳脚と伝導路	〃
7)	6）間脳；定義・内景と外景・間脳と伝導路	〃
8)	7）終脳；定義・内景と外景・大脳皮質の細胞と線維構築・	〃
9)	大脳の機能局在・終脳と大脳辺縁系・	〃
10)	大脳髄質：連合線維・交連線維・投射線維（内包）・	〃
11)	大脳基底核：線維結合・機能	〃
12)	②末梢神経系　1）脊髄神経系；脊髄神経の区分・腕神経叢・上肢の神経・	〃
13)	腰神経叢・下肢の神経	〃
14) 15)	2）自律神経系；交感神経系・副交感神経系	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

金子 丑之助・原著：日本人体解剖学 上巻 骨格系・筋系・神経系. 第19版, 南山堂, 2000.

参 考 書
坂井 建雄・監訳：プロメテウス解剖学 コア アトラス. 第3版, 医学書院, 2019.
伊藤 隆・原著：解剖学講義. 第３版, 南山堂, 2012.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	解剖学実習 I	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		実習	1年次・通年	1(45)

担当者
岡田 裕・大西 重徳・河島 隆貴・森川 芳彦・山下 徹郎・他

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

骨の立体的な構造を捉え、各部位の名称を習得する。
上下肢の筋を中心に、各筋の起始・停止、支配神経、髄節レベルを習得する。

講義概要

運動の理解の基礎となるよう、筋や靭帯などの付着部位を観察する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)〜 〜15)	1　骨の構造と部位・名称 ・頭蓋 ・脊柱 ・胸郭 ・上肢骨 ・下肢骨 2　筋の名称、部位と走行、作用、支配神経 ・上肢の筋：上肢帯、上腕、前腕、手 ・下肢の筋：下肢帯、大腿、下腿、足	骨・筋模型を用いた演習

成績評価方法
実習態度、筆記試験、骨・筋の面接試験

教科書・授業資料
1) 金子 丑之助・原著：日本人体解剖学 上巻 骨格系・筋系・神経系. 第19版, 南山堂, 2000.
2) 坂井 建雄・監訳：プロメテウス解剖学 コア アトラス. 第3版, 医学書院, 2019.
3) 理学療法科学学会・編：国試の達人 PT・OTシリーズ2020 運動解剖生理学編. 第25版, アイペック, 2019.

参 考 書

準備学習等
教科書を読み理解を深めて下さい。

担当者からのメッセージ
貴重な教材を用いての実習です。教材を粗末に扱わないようにして下さい。

担当教員への連絡法
教員室を訪ねて下さい。

科目名	解剖学実習Ⅱ	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		実習	2年次・1,2学期	1(45)

担当者
関聰介・大西重徳・河島隆貴・小林伸江・常久謙太郎・森川芳彦・松田英希・阿部菜海子

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

剖出された献体の観察を通じて、検査画像や写真の部位・名称が分かるようになる。
体表解剖（触診）を行ない、臨床上必要な基本部位を特定できるようになる。

講義概要

体表解剖実習を行う。
剖出された献体の観察を通じて、人体の構造を機能や臨床的事項と関連させながら学習する。
医科大学の実習の進行に合わせて観察・触察・スケッチを行う。必要に応じて教員による説明を行

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	オリエンテーション	
	1学期：上肢・体幹・下肢の体表解剖（触診）実習	実習
	2学期：医科大学解剖学実習室での献体の観察・触察	観察・スケッチ
	背部・胸部・腋窩・腕神経叢	〃
	上腕・前腕・手部	〃
	上肢末梢神経とその支配筋の同定	〃
	胸腔（心肺）・腹部臓器・骨盤内臓器	〃
	脊髄・髄膜・深背筋	〃
	腰神経叢・仙骨神経叢・殿部	〃
	大腿・下腿	〃
	頭部・脳	〃
～23)	・補習講義	講義

成績評価方法

1学期：触診実技テスト30点、2学期：課題（所見・スケッチなど）40点、筆記テスト30点

教科書・授業資料

資料を配布

参 考 書

解剖学の教科書もしくはアトラスがあると観察の助けになる。

準備学習等

次回の観察予定部位について各種資料で予習をすること。

担当者からのメッセージ

献体してくださった故人の尊い遺志・ご家族への感謝の気持ちを忘れずに臨むこと。

担当教員への連絡法

教員室を訪ねて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	講義	1年次・通年	1(30)×3

担当者
古我 知成・高橋 尚・氏川 拓也

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

様々な疾患の病態を理解するための基礎知識として、正常な人体の各機能について学習する。

講義概要

正常な人体の各機能について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	1　総論	講義
	2　細胞の基本構造と機能	〃
	3　筋	〃
	4　シナプス伝達	〃
	5　神経	〃
	6　感覚	〃
	7　血液	〃
	8　心臓　循環	〃
	9　呼吸	〃
	10　消化・吸収	〃
	11　排泄	〃
	12 内分泌	〃
	13　代謝・栄養・体温調節	〃
～45)	14　生体防御	〃
	15　生殖	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

二宮 石雄・他：スタンダード生理学. 第3版, 文光堂, 2013.

参 考 書

大地 陸男：生理学テキスト. 第8版, 文光堂, 2017.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

□ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
生理学実習	実習	2年次	1(45)

担当者

古我 知成・高橋 尚・氏川 拓也

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

・人体の各機能について実習を通じて学習する。・各種の生理機能検査を理解するための基礎知識を学習する。
・結果を記述し、考察する過程を通じて科学的思考方法を知る。

講義概要

人体の各機能について実習を通じて学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1. 摂食・消化機能に関する実習 2. 表面筋電図、誘発筋電図、神経の伝導速度に関する実習 3. 感覚に関する実習 4. フリッカー値と反応時間の測定 5. 自転車エルゴメータを用いた心肺運動負荷試験 6. ヒトの心電図、血圧および呼吸に関する実習 7. 体温、発汗、酸素飽和度に関する実習	実習・演習

成績評価方法

レポート、筆記試験

教科書・授業資料

配布資料

参 考 書

二宮 石雄・他：スタンダード生理学. 第3版, 文光堂, 2013.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
運動生理学	講義	1年次・2,3学期	1(30)

担当者
花崎 加音

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

運動が人体にもたらす生理学的な変化について、ごく初歩的な内容をを理解する。

講義概要

生理学を運動という視点から学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	7章　運動と栄養	講義
2)	6章　運動と代謝　1. 糖・脂質代謝とは　2. 糖代謝	〃
3)	3. 脂質代謝　4. 糖・脂質代謝と運動および骨格筋	〃
4)	1章　運動と呼吸　1. 肺の構造と機能　2. 肺ガス交換と血液によるガス運搬	〃
5)	3. 運動時の呼吸調節　4. 呼吸調節と酸塩基平衡	〃
6)	2章　運動と循環　1. 心臓の構造と機能　2. 心電図　3. 心周期	〃
7)	4. 心臓の神経支配　5. 心拍数	〃
8)	6. 一回拍出量　7. 運動と心拍出量　8. 血液循環	〃
9)	9. 血液配分　10. 血　圧　11. 循環調節	〃
10)	3章　運動と筋肉　1. 骨格筋の構造　2. 骨格筋の収縮　3. 筋収縮のタイプ	〃
11)	4. 筋力と筋パワー　5. 運動単位　6. 筋線維のタイプ	〃
12)	7. 筋線維タイプ組成　8. トレーニングによる骨格筋の適応	〃
13)	4章　運動と神経　1. 神経系の分類　2. 神経組織の構造と機能	〃
14)	3. 中枢神経系の構造と機能　4. 末梢神経系の構造と機能	〃
15)	5. 神経系による運動の調節	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

浅野勝己・編著：運動生理学概論. 第２版, 杏林書院, 2013.

参 考 書
大地 陸男：生理学テキスト. 第７版, 文光堂, 2013.
中村隆一・他：基礎運動学. 第６版, 医歯薬出版, 2003.

準備学習等
上記指定の学習項目のみ扱います。各講義回で扱う項目はおおよその目安で前後します。生理学の復習をしておくとわかりやすいでしょう。そして教科書を読んで、自分なりにノートにまとめると良いでしょう。

担当者からのメッセージ
PT・OTは治療に運動という負荷を与えます。運動により健常人ではどのような生理学的応答が生じるかを理解することは、臨床において大変重要です。分からないことは授業中に質問して理解に努めて下さい。

担当教員への連絡法

声をかけて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
神経生理学	講義	1年次・3学期	1(30)

担当者
村上 朋彦

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

２年次に学習する運動障害や高次脳機能障害を理解するため、基礎的な神経系の生理学の知識を深める。

講義概要

中枢神経系の解剖学・生理学を踏まえ、姿勢制御や随意運動、高次脳機能について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	脳の概要（解剖学）画像の見方	講義
2)	脳の概要（解剖学・生理学）機能局在-1	〃
3)	脳の概要（解剖学・生理学）機能局在-2	〃
4)	脳の概要（解剖学）脳の血管	〃
5)	神経細胞，神経線維，シナプス	〃
6)	感覚と運動　①反射，感覚とその伝導路	〃
7)	感覚と運動　②感覚とその伝導路，皮質脊髄路（錐体路系）	〃
8)	感覚と運動　③皮質脊髄路（錐体路系），その他の下行路	〃
9)	感覚と運動　④平衡感覚	〃
10)	感覚と運動　⑤視覚	〃
11)	姿勢保持と随意運動	〃
12)	随意運動の中枢機構	〃
13)	小脳と大脳基底核の役割	〃
14)	高次脳機能	〃
15)	運動学習と神経の可塑性	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
1) M.Bähr著, 花北順哉・訳：神経局在診断. 第６版, 文光堂, 2016.
2) 中村隆一・他：基礎運動学. 第６版, 医歯薬出版, 2003.

参 考 書
1) 坂井 建雄・監訳：プロメテウス解剖学 コア アトラス. 第3版, 医学書院, 2019.
2) 大地陸男：生理学テキスト. 第8版, 文光堂, 2017.

準備学習等
中枢神経系の解剖学および生理学を復習してください。
苦手な分野は教科書を読み、自分でまとめてみましょう。

担当者からのメッセージ
普段何気なく行っている動作の１つ１つが、実はとても素晴らしい身体の機能に支えられているのだということを再確認し、その機能が障害された場合に何が起こるか想像できると良いでしょう。

担当教員への連絡法
声をかけて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
運動学	講義	1年次・2学期	1(30)

担当者
村上 朋彦

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標
理学療法士・作業療法士として人の『動き』に関わるためには、まずその動きを理解する必要がある。四肢・体幹の運動器の中で、特に筋・靭帯の作用を力学的観点から理解し、人の姿勢や動作に対する分析力を高める。

講義概要
四肢・体幹の運動器を中心に、その機能を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	肩甲帯の運動	講義
2)	肩関節の運動①	〃
3)	肩関節の運動②	〃
4)	肘関節・前腕の運動①	〃
5)	肘関節・前腕の運動②	〃
6)	手関節・手部の運動①	〃
7)	手関節・手部の運動②	〃
8)	股関節の運動①	〃
9)	股関節の運動②	〃
10)	膝関節の運動①	〃
11)	膝関節の運動②	〃
12)	足関節・足部の運動①	〃
13)	足関節・足部の運動②	〃
14)	頭部・体幹の運動①	〃
15)	頭部・体幹の運動②	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
1) 中村隆一・他：基礎運動学. 第 6 版, 医歯薬出版, 2003.
2) 坂井 建雄・監訳：プロメテウス解剖学 コア アトラス. 第3版, 医学書院, 2019.

参 考 書
D.A.Neumann 著, 嶋田智明・他監訳：カラー版 筋骨格系のキネシオロジー. 原著第3版, 医歯薬出版, 2018.

準備学習等
筋骨格系の解剖学を復習しておくとよいでしょう。
教科書を読んで下さい。

担当者からのメッセージ
知っていれば見方が変わります。見方が変わればアプローチも変わるでしょう。

担当教員への連絡法
声をかけてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
運動学実習	実習	2年次・2学期	1(45)

担当者

村上朋彦 大西重徳 河島隆貴 岡田裕 笘野稔 花崎加音 松本晋輔 松本琢磨 山下徹郎

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

人体構造と機能について、運動器を中心に各種測定機器を用いた計測や観察を中心とした実習を通して、生理学的・運動学的理解を深める。

講義概要

実習計画を立案・実施する過程を通して能動的に学ぶ。各種測定機器を用いた計測や観察を実施し、人体構造・機能の基礎知識を身につけるとともに、生理学的・運動学的理解を深める。また、結果の分析・考察を通して論理的思考を身につける。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1）～ ～23)	1．実習 （1）スパイロメーター、心電図、パルスオキシメーター （2）立位・歩行分析（足底圧測定） （3）３次元動作解析 （4）動作筋電図	実習

成績評価方法

実習（1）～（4）それぞれに小テスト、レポート課題、筆記試験あり。4 テーマ各 25 点

教科書・授業資料

中村隆一・他：基礎運動学. 第 6 版, 医歯薬出版, 2003.

参 考 書

準備学習等

実習項目ごとに必要な文献を収集すること。
実験計画の作成の際は先行研究からヒントを得ましょう。

担当者からのメッセージ

スケジュール管理をきちんとし、余裕のある実験計画を立てましょう。

担当教員への連絡法

職員室に来てください。実習項目ごとに担当が対応します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
人間発達学	講義	1年次・2学期	1(30)

担当者
加藤 敦

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

人間に対する理解の基礎として、身体発達、諸機能の発達及び各段階における発達の特徴、課題について学習する。

講義概要

総論では、人間の発達の仕方について学ぶ。各論では、発達の各段階における特徴を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)〜 〜15)	1　総論 1.1　人間発達学とは 1.2　身体発達 1.3　運動機能の発達 1.4　認知等諸機能の発達 1.5　発達の評価とその意味 2　各論 2.1　胎児期 2.2　新生児期 2.3　乳幼児期 2.4　学童期 2.5　思春期 2.6　青年期	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

黒田恭弘・監：最新育児小児病学. 第7版, 南江堂, 2018.

参 考 書

梶谷喬・他：医療保育　ぜひ知っておきたい小児科知識. 第３版, 診断と治療社, 2012.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
病理学	講義	2年次・2学期	1(30)

担当者
藤原 英世・西村 広健・松野 岳志

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

疾病の原因および形態的変化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について理解する。

講義概要

病理学の総論を中心に教授する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1　総論	講義
2)	1.1　病理学の定義	〃
3)	1.2　細胞の構造と機能・分化	〃
4)	1.3　内臓器の構造と機能	〃
5)	1.4　呼吸器・循環器の構造と機能	〃
6)	1.5　神経系の構造と機能	〃
7)	1.6　動脈・静脈・血液成分の構造と機能，分布	〃
8)	1.7　代謝異常	〃
9)	1.8　修復と再生	〃
10)	1.9　循環障害	〃
11)	1.10　炎症・免疫	〃
12)	1.11　アレルギー・感染	〃
13)	1.12　腫瘍	〃
	1.13　遺伝と先天異常	
14,15)	2　各論	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

笹野公伸・他：シンプル病理学. 第8版, 南江堂, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
リハビリテーション医学 I	講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
安永　雅

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標
リハビリテーション医学の概要を学ぶ。
機能・活動・参加の観点から障害像を捉え、診断・評価および治療を理解する。
リハビリテーション医、理学療法士、作業療法士の役割を知る。

講義概要
リハビリテーション医学の特徴、対象となる障害の診断と評価について述べ、さらに治療の基本的原則を教授する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)〜	1.総論　1.1　定義と歴史　　1.2リハビリテーション医学の特徴 2.障害の診断と評価 2.1　医学的情報（病理，電気，画像診断を含む）の評価 2.2　機能障害の評価　　2.3　活動制限（筋力低下）の評価 2.4　参加制約（社会的不利の評価）　2.5　環境因子の評価 3.機能障害の評価とリハビリテーション 3.1　運動障害(中枢性および末梢性運動麻痺，運動失調，関節障害，その他) 3.2　呼吸障害　3.3　循環障害　3.4　代謝・内分泌障害　3.5　発達障害 3.6　構音障害　3.7　視覚障害　3.8　聴覚障害　3.9　高次脳機能障害 3.10　疼痛　3.11　摂食・嚥下障害　3.12　排尿・排便障害 3.13　心理的問題 4.活動制限（能力低下）の評価とリハビリテーション 4.1　日常生活活動の障害　4.2　生活関連活動の障害 5.参加制約（社会的不利）の評価とリハビリテーション	講義
〜15)	6.リハビリテーション医学に求められる薬と栄養の基礎知識	

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
椿原彰夫・編著：PT•OT•ST•ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説. 第3版, 診断と治療社, 2017.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
リハビリテーション医学Ⅱ	講義	2年次・2学期	1(15)

担当者
花山　耕三

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

リハビリテーションの対象疾患・障害の概要と医学的リハビリテーションの概要を理解する。

講義概要

講義では「リハビリテーション医学Ⅰ」で学習したリハビリテーション医療の流れを踏まえ、治療対象となる疾患・障害の診断および医学的リハビリテーション（臨床薬学を含む）について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1）～ ～15)	1.各論 1.1　脳血管障害のリハビリテーション 1.2　外傷性脳損傷のリハビリテーション 1.3　脊髄損傷のリハビリテーション　1.4　脳性麻痺のリハビリテーション 1.5　変性疾患のリハビリテーション　1.6　神経筋疾患のリハビリテーション 1.7　末梢神経障害のリハビリテーション 1.8　骨関節疾患のリハビリテーション 1.9　慢性関節リウマチのリハビリテーション 1.10　その他の膠原病のリハビリテーション 1.11　切断のリハビリテーション　1.12　末梢循環障害のリハビリテーション 1.13　形成外科疾患のリハビリテーション（熱傷・植皮術後等） 1.14　呼吸器・循環器疾患のリハビリテーション 1.15　胸部心臓血管外科術後のリハビリテーション 1.16　糖尿病・血液疾患のリハビリテーション 1.17　悪性腫瘍のリハビリテーション　1.18　高齢者のリハビリテーション	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
椿原彰夫・編著：PT•OT•ST•ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説. 第3版, 診断と治療社, 2017.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
神経内科学 I	講義	2年次・2学期	1(15)

担当者
阿部 泰昌

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

神経症候学並びに神経内科及び神経外科領域でみられる各種疾患の概念と特徴、検査（評価）、障害などについて学習する。

講義概要

神経内科疾患に関する症候、診断について総論的に教授し、理学療法や作業療法を実施する上で知っておくべき基本的知識を身につける。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1 総論	講義
2)	定義	〃
3)	検査・診断	〃
4)	画像診断	〃
5)	電気生理学的検査	〃
6)	筋生検，神経生検,脳脊髄液検査	〃
7)	自律神経機能検査および反射	〃
8)	2 症候学	〃
9)	末梢性麻痺	〃
10)	中枢性麻痺	〃
11)	筋萎縮	〃
12)	失調	〃
13)	錐体外路障害	〃
14)	知的障害	〃
15)	構音障害，嚥下障害および高次脳機能障害	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

田崎 義昭・他：ベッドサイドの神経の診かた .第18版, 南山堂, 2016.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

専門基礎分野　　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
神経内科学Ⅱa	講義	2年次・2学期	

担当者
三原 雅史・大澤 裕・逸見 祥司・久徳 弓子

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

神経内科学の対象となる疾患の概念と特徴、症候、検査（評価）、治療方針などについて学習する。

講義概要

神経内科疾患に関する症候、診断、治療について教授し、理学療法や作業療法を実施する上で知っておくべき基本的知識を身につける。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1) 2)	変性疾患(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、その他)	講義
3) 4)	脱髄疾患（多発性硬化症、他）	〃
5) 6)	筋疾患（筋ジストロフィー、多発性筋炎・皮膚筋炎、重症筋無症、その他）	〃
7) 8)	末梢神経障害（糖尿病性ニューロパチー、ギランバレー症候群、その他）	〃
9) 10)	代謝、中毒性疾患（重金属中毒、アルコール中毒、その他）	〃
11)	感染性疾患（髄膜炎、脳炎、エイズ、その他）	〃
12) 13)	腫瘍（脳腫瘍、その他）	〃
14)	先天異常（ダウン症、脳性麻痺、その他）	〃
15)	その他（アルツハイマー病、てんかん、その他）	〃

成績評価方法
筆記試験　（＊神経内科学Ⅱで1（30）の単位を認定。）

教科書・授業資料

安藤 一也・杉村 公也：リハビリテーションのための神経内科学. 第2版, 医歯薬出版, 2003.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
神経内科学Ⅱb	講義	2年次・2学期	

担当者
井上 剛・山下 眞史

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

脳卒中の概念と分類、特徴、症候、検査（評価）、治療方針などについて学習する。

講義概要

脳血管障害に病因・病理、症候・障害と治療について教授し、理学療法や作業療法を実施する上で知っておくべき基本的知識を身につける。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	1 脳血管障害	講義
	脳梗塞の病因と病理	
	脳梗塞の病巣部位と症候・障害とその治療	
	脳出血の病因と病理	
～15)	出血部位と症候・障害とその治療	

成績評価方法
筆記試験　（＊神経内科学Ⅱで1（30）の単位を認定。）

教科書・授業資料

川平 和美・編：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学. 第5版, 医学書院, 2019.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	整形外科学 I	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
内野 和也・日野 峻介・渡辺 聖也・花井 雄貴・福間 貴雅・原　啓之・他

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

整形外科領域における病態、診断法、治療法について理学療法士・作業療法士に必要な知識を習得する。

講義概要

・整形外科疾患の特徴（定義、分類、症状など）、診断法、検査法、治療法について学ぶ。
・各疾患に対するリハビリテーションの概略について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)〜	1 総論　1.1　定義・歴史 1.2　骨・関節の構造と生理 1.3　骨・関節の病態生理 1.4　整形外科的症候と診断 1.5　整形外科的検査法 1.6　保存療法（牽引療法を含む） 1.7　手術療法 2 各論　2.1　外傷と骨折 2.1.1　骨折の受傷機転と治癒機転 2.1.2　骨折の画像診断（単純X線・CT・MRI） 2.1.3　骨折治癒の遅延に影響を及ぼす因子 2.1.4　骨折の分類（病的分類・程度による分類・外界との交通による分類） 2.1.5　骨折の症状（ショック・疼痛・変形・異常可動性・軋轢音・機能障害） 2.1.6　骨折の合併症（骨化性筋症・Volkman拘縮・Sudeck骨萎縮・CRPS 脂肪塞栓） 2.1.7　上肢骨折と特徴的な症状（上腕骨近位端骨折・Monteggia骨折・ Galeazzi骨折・Colles骨折・Smith骨折・舟状骨骨折）	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	整形外科学 I	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
三﨑 孝昌・佐藤　舟・金子　甫・梶本 遼介・丹　祐人・三木 敬広・太田 雄紀・他

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

整形外科領域における病態、診断法、治療法について理学療法士・作業療法士に必要な知識を習得する。

講義概要

・整形外科疾患の特徴（定義、分類、症状など）、診断法、検査法、治療法について学ぶ。
・各疾患に対するリハビリテーションの概略について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	2.1.8　上肢骨折と神経麻痺（鎖骨骨折と腕神経叢麻痺・上腕骨外科頚骨折と腋窩神経麻痺・上腕骨外顆骨折と尺骨神経麻痺・上腕骨顆上骨折と正中神経麻痺・上腕骨骨幹部骨折と撓骨神経麻痺・撓骨遠位端骨折と正中神経麻痺） 2.1.9　上肢の脱臼（肩関節前方脱臼・肩関節後方脱臼・肘関節後方脱臼） 2.1.10　下肢骨折と特徴的な症状（骨盤骨折・大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折・大腿骨骨幹部骨折・大腿骨遠位部骨折・膝蓋骨骨折・脛骨近位端骨折・下腿骨骨折・足関節果部骨折・距骨骨折・踵骨骨折） 2.1.11　下肢骨折と神経麻痺（仙骨骨盤骨折と腰神経叢麻痺・寛骨臼骨折と坐骨神経麻痺・腓骨頭骨折と腓骨神経麻痺） 2.1.12　下肢の脱臼（股関節前方脱臼・股関節後方脱臼・膝関節脱臼・足関節脱臼） 2.1.13　小児骨折の特徴（成人骨折との比較を含む） 2.1.14　無腐性壊死を起こしやすい骨折	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	整形外科学 I	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
佐藤　諒・髙越 俊行・日比 京佑・井上 洋一・菊岡 亮介・新井 理恵・他

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

整形外科領域における病態、診断法、治療法について理学療法士・作業療法士に必要な知識を習得する。

講義概要

・整形外科疾患の特徴（定義、分類、症状など）、診断法、検査法、治療法について学ぶ。
・各疾患に対するリハビリテーションの概略について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
～15)	2各論　2.2　脊髄・脊椎疾患及び脊髄損傷 2.2.1　脊髄・脊椎疾患及び脊髄損傷の画像診断（CT・MRI） 2.2.2　後縦靭帯骨化症・頸椎症・特発性側彎・胸郭出口症候群・脊髄損傷・中心性頸髄損傷・椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症・分離症・すべり症・強直性脊椎炎 2.2.2　椎間板ヘルニアの特徴と高位別症候 2.2.3　椎間板ヘルニアの放散痛誘発テスト（SLR・Spurlingテスト・Jacksonテスト） 2.2.4　胸郭出口症候群と症状誘発テスト（Edenテスト・Adsonテスト・Morleyテスト・Wrightテスト・Roosテスト） 2.2.5　脊柱側彎症の視診および画像診断（cobb角） 2.2.6 脊髄損傷の症状と機能レベル 2.3　切断 2.3.1　切断の術式 2.3.2　各切断の特徴 2.4　肩関節周囲炎	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	整形外科学Ⅱ	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・2学期	1(15)

担当者
内野 和也・日野 峻介・渡辺 聖也・花井 雄貴・福間 貴雅・原　啓之・他

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

整形外科領域における病態、診断法、治療法について理学療法士・作業療法士に必要な知識を習得する。

講義概要

・各疾患の特徴（定義、分類、症状など）、診断法、治療法について学ぶ。
・各疾患に対するリハビリテーションの概略について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	2 各論　2.1　変形性関節症 2.1.1　各関節における変形性関節症の特徴（股関節・膝関節・足関節・肩関節・肘関節・手関節） 2.1.2　変形性関節症の画像診断と病期分類 2.1.3　変形性関節症の保存療法（装具療法も含む） 2.1.4　変形性関節症の観血的療法 2.2　関節リウマチとその類縁疾患 2.2.1　関節リウマチの概要および病期分類 2.2.2　関節リウマチの画像診断および診断基準（アメリカリウマチ協会） 2.2.3　Steinbrocker分類・Lansbury活動指数 2.2.4　関節リウマチの関節症状と変形 2.2.5　関節リウマチの治療薬 2.2.6　関節リウマチの観血的治療 2.3　骨・関節の感染症 2.3.1　軟部組織感染症・骨髄炎・慢性骨髄炎・結核性骨関節炎	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	整形外科学Ⅱ	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・2学期	1(15)

担当者　三﨑 孝昌・佐藤　舟・金子　甫・梶本 遼介・丹　祐人・三木 敬広・太田 雄紀・他

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

整形外科領域における病態、診断法、治療法について理学療法士・作業療法士に必要な知識を習得する。

講義概要

・各疾患の特徴（定義、分類、症状など）、診断法、治療法について学ぶ。
・各疾患に対するリハビリテーションの概略について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	2.4　末梢神経損傷 2.4.1　末梢神経損傷の分類 2.4.2　末梢神経損傷の検査法と診断 2.4.3　末梢神経損傷各論（腕神経叢・筋皮神経・腋窩神経・尺骨神経・正中神経・橈骨神経・大腿神経・脛骨神経・腓骨神経・顔面神経） 2.5　スポーツ障害・外傷 2.5.1　OsgoodSchlatter病・Jumper膝・半月板損傷・膝靭帯損傷 野球肩・上腕骨外側上顆炎・離断性骨軟骨炎・肉離れ・疲労骨折 アキレス腱損傷 2.5.2　各種障害の検査法と画像診断（単純X線・CT・MRI） Lachmanテスト・後方引き出しテスト・Apleyテスト・McMurrayテスト 内反、外反ストレステスト・膝蓋跳動 2.6　代謝性骨疾患 2.6.1　骨粗鬆症・骨軟化症・成長ホルモン異常症 2.7　四肢循環障害と阻血性壊死 2.7.1　閉塞性血栓性血管炎・閉塞性動脈硬化症・静脈血栓症・Raynaud病 2.7.2　大腿骨頭壊死症・Perthes病	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	整形外科学Ⅱ	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・2学期	1(15)

担当者
佐藤　諒・髙越 俊行・日比 京佑・井上 洋一・菊岡 亮介・新井 理恵・他

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

整形外科領域における病態、診断法、治療法について理学療法士・作業療法士に必要な知識を習得する。

講義概要

・各疾患の特徴（定義、分類、症状など）、診断法、治療法について学ぶ。
・各疾患に対するリハビリテーションの概略について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
～15)	2.8　骨・軟部腫瘍 2.8.1　原発性骨良性腫瘍・骨軟骨腫・原発性骨悪性腫瘍 2.9　先天性骨系統疾患 2.9.1　絞扼輪症候群・Sprengel変形・骨形成不全症・先天性内反足 2.9.2　発育性股関節形成不全と検査法	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	精神医学Ⅰ・Ⅱ	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1,2学期	1(15)×2

担当者
薬師寺 晋・後藤 信太郎・門田 耕三・森　祥子・川田 諭一・宮﨑 哲治・太田 正大

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

・精神医学の特徴を理解し、基礎知識を習得する。
・精神医学の対象となる疾患の臨床的特徴、治療とリハビリテーションの基本について理解できる。

講義概要

・精神疾患の定義と成因、分類、精神科診療における診察のあり方、精神症状の捉え方を学ぶ。
・各疾患の特徴（定義、分類、症状など）、治療と対応のポイントを学ぶ。
・精神科治療とリハビリテーションの概略について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	1.総論 ・定義・歴史・目的、原因と分類、診察と診断 ・治療…身体療法、精神療法、精神科リハビリテーション ・精神保健（精神保健および精神障害者福祉に関する法律） ・コンサルテーション・リエゾン精神医学 2.症状学 3.疾患各論 ・器質性精神障害（症状性含む） ・精神作用物質使用による精神および行動の障害 ・統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 ・気分（感情）障害 ・神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 ・生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 ・成人の人格および行動の障害	講義
～30)	・知的障害、心理的発達の障害、小児期および青年期に通常発症する行動および	

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

尾崎 紀夫・他：標準精神医学. 第7版, 医学書院, 2018.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	脳神経外科学	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・3学期	1(15)

担当者
宇野 昌明・松原 俊二・原 慶次郎・八木 謙次

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

医学的リハビリテーションの対象となる脳神経外科的疾患の基礎知識と脳神経外科的治療の概要を理解する。

講義概要

脳神経外科的疾患の主要な症状をのべ、各論ではリハビリテーションの対象となる脳神経外科的疾患を具体的に学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)〜	Ⅰ総論　1主要症状・病態:頭痛　痙攣　意識障害 精神症状と認知症 頭蓋内圧亢進症候　脳死　脳ヘルニア　脳浮腫 2診断・検査:診断・検査法　神経学的補助検査　頭蓋単純X線撮影 CT　MRI　脳血管撮影　脳脊髄液検査　神経眼科検査 神経耳科検査　脳波　誘発電位　SPECT　PET　その他 3脳神経外科的治療:薬物療法　手術療法　救急処置 Ⅱ各論　1頭部外傷 2脳血管障害:脳出血 くも膜下出血　脳梗塞　脳動脈瘤　脳動静脈奇形 もやもや病　正常圧水頭症 3脳腫瘍 4奇形:乳幼児水頭症　二分脊椎　Arnold-Chiari奇形 5感染性疾患:脳膿瘍 髄膜炎 その他頭蓋内感染症 6痙攣性疾患:てんかん 7脊髄・脊椎疾患 8その他	講義
〜15)		

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

生塩 之敬・他：ニュースタンダード脳神経外科学. 第5版, 三輪書店, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
内科学Ⅰ／呼吸器内科	講義	2年次・2学期	(10)

担当者
友田 恒一・白井　亮

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

医学的リハビリテーションの対象となる呼吸器疾患の基礎的知識と内科的治療の概要を理解する。

講義概要

呼吸器疾患の症候と病態生理、診断法（診察手技・画像読影・臨床検査の解釈など）および治療法の概要について講義する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)〜 〜5)	1　総論 1.1　解剖と生理 1.2　症候と病態生理 呼吸困難・息切れ、咳嗽・喀痰、喘鳴・起座呼吸、胸痛、 チアノーゼ、浮腫・ばち状指 1.3　検査・診断 医療面接、身体所見、画像診断、肺機能検査、生化学検査 2　各論 2.1 呼吸不全と換気異常　2.2 感染性肺疾患　2.3 免疫・アレルギー性肺疾患 2.4 間質性肺疾患　2.5 閉塞性肺疾患　2.6 閉塞性肺疾患 2.7 肺腫瘍　2.8 肺循環障害　2.9 胸膜・縦隔疾患 2.10 胸部外傷・その他	講義

成績評価方法
筆記試験　（＊内科学Ⅰで1（30）の単位を認定。）

教科書・授業資料

医学情報科学研究所：病気がみえる vol.4 呼吸器. 第3版, メディックメディア, 2018.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	内科学Ⅰ／循環器内科	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1学期	(10)

担当者
岡本 公志

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

医学的リハビリテーションの対象となる循環器疾患の基礎的知識と内科的治療の概要を理解する。

講義概要

循環器疾患の症候と病態生理、診断法（診察手技・画像読影・臨床検査の解釈など）および治療法の概要について講義する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)〜 〜5)	1　総論 1.1　解剖と生理 1.2　症候と病態生理 呼吸困難、胸痛、心悸亢進（動悸）、浮腫、チアノーゼ、失神 1.3　検査・診断 医療面接、身体診察、胸部X線、心電図、生化学検査、 心エコー、画像診断、心臓カテーテル検査、運動負荷試験 2　各論 高血圧、心不全、虚血性心疾患、 弁膜症、先天性心疾患、心筋疾患、不整脈、 大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患、その他	講義

成績評価方法
筆記試験　（＊内科学Ⅰで1（30）の単位を認定。）

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	内科学Ⅰ／消化器内科	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1,2学期	(10)

担当者
原　裕一・三宅 智雄・福嶋 真弥

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

消化器系疾患に関する知識を習得し、分類、疫学、病態生理、治療、予後について学ぶ。

講義概要

消化器に関する知識、消化器系疾患の症候、診断法および治療法の概要について講義する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	1 消化管の解剖・生理・症状	講義
	2 食道の病気・胃の病気	
	3 小腸・大腸の病気	
	4 肝の解剖・機能・検査・徴候	
	5 肝炎・肝硬変・肝癌	
	6 胆道の解剖・検査・各論	
～5)	7 膵の解剖・検査・各論	

成績評価方法
筆記試験　（＊内科学Ⅰで1（30）の単位を認定。）

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
内科学Ⅱ／血液内科	講義	2年次・1学期	(6)

担当者
末盛 晋一郎

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

代表的な血液疾患の病因、病態生理、診断、治療を理解する。

講義概要

代表的な血液疾患の病因、病態生理、診断、治療について教授する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～ ～3)	1 総論 1.1 造血 1.2 血球の機能・動態 2 各論 血液疾患の主要症候と病態生理・検査値異常・特殊検査・診断と治療 2.1 貧血 2.2 白血病 2.3 敗血症 2.4 悪性リンパ腫 2.5 血友病 2.6 その他	講義

成績評価方法
筆記試験　（＊内科学Ⅱで1（15）の単位を認定。）

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
内科学Ⅱ／泌尿器科	講義	2年次・3学期	(6)

担当者
大平 伸

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

泌尿器の構造・機能とともにその疾患について理解する。また、リハビリテーション医療における泌尿器の問題について理解を深める。

講義概要

総論では泌尿器と泌尿器疾患の基礎知識、各論では各種疾患の症候や治療について教授する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	1　総論 1.1　腎臓・尿管・膀胱の構造　1.2　腎臓・尿管・膀胱の機能 1.3　泌尿器疾患の考え方 2　各論 2.1　急性腎炎症候群を呈する疾患　2.2　慢性腎炎症候群を呈する疾患 2.3　ネフローゼ症候群を呈する疾患 2.4　全身疾患に伴う腎病変（ループス腎炎）　2.5　糖尿病に伴う腎病変 2.6　腎盂腎炎　2.7　腎不全（急性・慢性） 2.8　腎腫瘍（グラビッツ腫瘍・ウィルムス腫瘍）　2.9　膀胱炎 2.10　膀胱尿管逆流現象　2.11　腎結石　2.12　腎癌 2.13　前立腺肥大症　2.14　前立腺癌 3　泌尿器関連の問題への対応・対処 3.1　留置カテーテル　3.2　自己導尿　3.3　神経因性膀胱 3.4　透析	講義

成績評価方法
筆記試験　（＊内科学Ⅱで1（15）の単位を認定。）

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	内科学Ⅱ／内分泌代謝	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1学期	(6)

担当者
真田 淳平

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標
1　糖尿病の病態、症候、合併症、診断と治療について学習する。
2　内分泌系の異常を原因とする各疾患の病態、症候を知る。

講義概要

糖尿病、その他内分泌系疾患の病態、症候、治療等について教授する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～	1 糖尿病	講義
	1.1 病態，症候，合併症	
	1.2 診断と治療	
	2 その他の内分泌疾患	
	2.1 脳下垂体機能亢進症と低下症	
	2.2 甲状腺機能亢進症と低下症	
	2.3 副腎皮質機能亢進症と低下症	
～3)	2.4 その他	

成績評価方法
筆記試験　（＊内科学Ⅱで1（15）の単位を認定。）

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

専門基礎分野　　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	一般臨床医学	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・通年	1(30)

担当者

上野 富雄／平野 紘康／井上 貴博／杉原 弥香／淺沼 由美子・佐藤 徹子

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

理学療法・作業療法の業務と関連のある各科の疾患の病態・検査・治療の概観について学ぶ。

講義概要

消化器外科・膠原病・救急医学・産婦人科・皮膚科について各６時間ずつ学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～ ～30)	1.消化器外科 対象疾患の病態・検査・手術 （消化管の癌とその手術、直腸がんとストーマ管理、肝・胆・膵の手術） 2.膠原病 ・総論　免疫、アレルギーと膠原病 ・各論　各種膠原病、アレルギー、自己免疫疾患の病態・検査・治療 3.救急医学 ・救急処置、心肺蘇生法、救急のABC、ICUの役割 ・ショックの原因と分類、意識障害の原因と評価法 ・呼吸管理、輸液・輸血 4.産婦人科 正常な妊娠・出産、妊娠・出産の異常と合併症 婦人科に多い疾患の病態・検査・治療 5.皮膚科 ・総論　皮膚の解剖と創傷治癒 ・各論　褥創、熱傷、感染症（MRSAなど）の病態・検査・治療	講義

成績評価方法

各科目ごとに筆記試験を行う。

教科書・授業資料

講義中に配布する。

参 考 書

椿原彰夫・他：PT•OT•STのための一般臨床医学. 第3版, 医歯薬出版, 2014.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
小児科学	講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
加藤　敦

実務経験の内容内容　大学病院の医師として勤務

授業のねらい・到達目標

小児の成長・発達と主な小児疾患の種類・特徴・診断・治療法について理解する。

講義概要

総論では、小児発達の概要を学習する。各論では、新生児疾患、先天異常・染色体異常、循環器、呼吸器、消化器疾患について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)～ ～8)	1　総論 1)発育と発達 2)小児の生理 3)栄養・生活 4)小児保健 5)診断と治療の概要 2　各論 1)新生児疾患 低出生体重児、未熟児、分娩損傷、新生児仮死、呼吸障害、 代謝障害、新生児感染症、消化器障害、血液・血管系障害 2)先天異常と染色体異常 ①先天異常の定義と発生機序・成因 ②染色体異常症 ③性染色体異常症 ④先天性奇形：先天性風疹症候群、先天性サイトメガロウイルス感染症、 先天性トキソプラズマ症、先天性梅毒、放射線による奇形、 化学物質による奇形、薬物による奇形 3)循環器：先天性心疾患、後天性心疾患、不整脈 4)呼吸器：鼻の疾患、咽頭・喉頭疾患、気管支炎、肺炎 5)消化器：口腔疾患	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

黒田泰弘・監：最新育児小児病学. 第7版, 南江堂, 2018.

参 考 書

梶谷 喬・他：医療保育 ぜひ知っておきたい小児科知識. 第4版, 診断と治療社, 2015.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
老年医学	講義	2年次・3学期	1(15)

担当者
岡田 有司・山下 徹郎

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

加齢に伴う身体，精神機能の変化を理解する。
高齢者に対する理学療法，作業療法を理解する。

講義概要

社会の高齢化に伴い、PT・OTが高齢者に関わる機会はますます多くなっている。ここでは、高齢者によくみられる疾患や状態について学習し、適切に対応できる礎とする。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	老化と老年病の考え方	講義
2)	加齢に伴う変化；生理機能	〃
3)	加齢に伴う変化；運動機能	〃
4)	加齢に伴う変化；精神心理面	〃
5)	高齢者の医療（医学的リハ）	〃
6)	高齢者の介護・福祉（地域リハ、社会的リハ）	〃
7)	高齢者のリハビリテーション；理学療法	〃
8)	高齢者のリハビリテーション；作業療法	〃
9)	高齢者の特徴的な症候・疾患とリハ（PT/OT）；老年症候群	〃
10)	高齢者の特徴的な症候と疾患とリハ（PT/OT）；呼吸・循環器疾患	〃
11)	高齢者の特徴的な症候と疾患とリハ（PT/OT）；骨・運動器疾患	〃
12)	高齢者の特徴的な症候と疾患とリハ（PT/OT）；神経疾患	〃
13)	高齢者の特徴的な症候と疾患とリハ（PT/OT）；精神疾患	〃
14)	高齢者の特徴的な症候と疾患とリハ（PT/OT）；その他	〃
15)	講義全体の質疑応答，まとめ	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

大内尉義・編：老年学. 標準理学療法学•作業療法学 専門基礎分野, 第5版, 医学書院, 2020.

参 考 書

準備学習等
講義の前に教科書に目を通しておくことが望ましい。自分の周りにる高齢な方と関わることができていると講義の内容が理解しやすいかもしれない。

担当者からのメッセージ
リハビリテーションの対象となる方は高齢の方が多いです。心身の変化を学び、対象者の理解につなげてください。

担当教員への連絡法

教員室に。講義中、講義後でも可能。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
リハビリテーション概論	講義	1年次・1学期	1(30)

担当者
村上 朋彦

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

リハビリテーションの理念、考え方、進め方を理解する。
対象者や各種専門職の役割について学ぶ。

講義概要

「リハビリテーションとは」「障害（者）とは」など、基本的なことから講義を始め、リハビリテーションという世界を紹介する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	「リハビリテーション」とは	講義
2)	リハビリテーションの定義、歴史	〃
3)	リハビリテーションの歴史、障害者運動	〃
4)	障害の定義、分類（国際障害分類）	〃
5)	障害の定義、分類（国際生活機能分類）①	〃
6)	障害の定義、分類（国際生活機能分類）②	〃
7)	障害の定義と法律（障害者基本法）	〃
8)	医学的・職業的・教育的・社会的リハビリテーション	〃
9)	リハビリテーションに関わる各種専門職 ①	〃
10)	リハビリテーションに関わる各種専門職 ②	〃
11)	リハビリテーションの進め方、評価と治療、ニーズと目標	〃
12)	医学的リハビリテーションの諸段階（急性期）	〃
13)	医学的リハビリテーションの諸段階（回復期・維持期）	〃
14)	障害と心理	〃
15)	医学的リハビリテーションの対象者	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

椿原彰夫・編：PT•OT•ST•ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論. 第3版, 診断と治療社, 2017.

参 考 書

中村隆一・編：入門 リハビリテーション概論. 第7版, 医歯薬出版, 2009.

準備学習等
本来ならボランティア活動などの実体験が一番良いとは思いますが、日頃からテレビ、新聞、書籍などで扱われるリハビリテーションに関連するものに対し、少しでもアンテナを広げて欲しいです。教科書も読みましょう。

担当者からのメッセージ
リハビリテーションという哲学、概念、世界観を知って欲しいと思います。そしてあなたの理想とする「リハビリテーション」を考えて下さい。

担当教員への連絡法

声をかけて下さい。

☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
PT/作業療法概論・OT/理学療法概論	講義	1年次・2学期	1(30)

担当者　山下 徹郎・森川 芳彦、矢吹 眞弓・笹野　稔

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士、理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

講義概要

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	理学療法学科は 91 頁『作業療法概論Ⅰ』を参照 作業療法学科は 56 頁『理学療法概論』を参照	

成績評価方法

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	言語療法概論	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	1年次・2学期	1(15)

担当者
宮﨑 彰子

実務経験の内容内容　大学病院の言語聴覚士として勤務

授業のねらい・到達目標

・リハビリテーション部門における言語聴覚士の業務内容について理解できる。
・言語療法が適応になる症状について理解する。　・言語療法的アプロ−チについて理解する。

講義概要

言語聴覚士の役割、言語聴覚療法の対象となる症状とその治療法について教授する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	言語療法について（総論）　歴史・言語聴覚士について	講義
2)	〃	〃
3)	言語療法適応になる症状について（総論）発声の仕組み・言葉の発達について	〃
4)	〃	〃
5)	言語療法適応になる症状について（各論）　失語、構音障害、摂食・嚥下障害	〃
6)	〃	〃
7)	〃	〃
8)	〃	〃
9)	〃	〃
10)	〃	〃
11)	〃	〃
12)	〃	〃
13)	言語療法的アプローチについて	〃
14)	〃	〃
15)	〃	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

毛束真知子：絵でわかる言語障害 言葉のメカニズムから対応まで. 第2版, 学研メディカル秀潤社, 2013.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

専 門 分 野

理 学 療 法 学 科

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
理学療法概論	講義	1年次・2学期	1(30)

担当者
矢吹 眞弓・笘野 稔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・理学療法士の仕事・役割を理解する。
・理学療法の概略（運動療法、物理療法など）が説明できる。

講義概要

リハビリテーション医療の歴史、理学療法の位置付け、理学療法の流れ・治療理論、理学療法士の業務等について、学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	理学療法の概念と歴史	
2)	理学療法士の法的位置づけ	
3)	理学療法士の働く領域	講義が中心
4)	理学療法の意義と役割	
5)	理学療法の対象	グループワーク
6)	理学療法の方法	を何度か実施予
7)	理学療法士の仕事	定です。
8)	理学療法士教育	
9)	医療・保健分野の理学療法	
10)	地域リハビリテーションと理学療法	
11)	医療事故とリスクマネジメント	
12)	個人情報の管理と対象者の権利	
13)	理学療法士を目指す学生に求められるもの	
14)	臨床実習の実践	
15)	理学療法士と研究	

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

千住秀明・監：理学療法学テキストⅠ 理学療法学概論. 第4版, 神陵文庫, 2013.

参 考 書
1) 椿原彰夫・編：PT•OT•ST•ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論. 第3版, 診断と治療社, 2017.
2) 中村隆一・他：入門 リハビリテーション概論. 第7版, 医歯薬出版, 2009.

準備学習等
「リハビリテーション概論」が基礎となるのでリハビリテーション概論の内容を復習しておいて下さい。グループ課題については事前に指示をします。

担当者からのメッセージ
これから理学療法については勿論、「リハビリテーション」や「チーム・アプローチ」などを学ぶ基礎固めとして下さい。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行って下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
基礎理学療法 I	講義	1年次・1学期	1(15)

担当者
岡田 裕

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・理学療法について、その全体像が把握できるようにする。
・理学療法について必要な解剖学的基礎知識と動作について学ぶ。

講義概要

理学療法の役割や活動領域、対象疾患について学ぶ。
動作に必要な骨・筋の構造を理解し、力学的な視点から基本的な動作や歩行ついて学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	オリエンテーション	講義
2)	理学療法の役割と業務	〃
3)	理学療法の活動領域と対象疾患	〃
4)	骨・関節の構造①	〃
5)	骨・関節の構造②	〃
6)	筋の構造と役割①	〃
7)	筋の構造と役割②	〃
8)	姿勢①	講義・演習
9)	姿勢②	〃
10)	動作①	〃
11)	動作②	〃
12)	歩行①	〃
13)	歩行②	〃
14)	歩行③	〃
15)	まとめ	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

講義時に配布します。

参 考 書

講義の中で適宜紹介します。

準備学習等

講義の中で指示します。

担当者からのメッセージ
理学療法に必要な基本的知識の整理や理学療法とはどのような仕事なのかを知ってもらいたいと思います。また、ヒトの体、動作について興味を持ちましょう。

担当教員への連絡法

質問などは講義中、教員室で随時対応します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
基礎理学療法Ⅱ	講義	1年次・2学期	1(15)

担当者
笘野 稔・松田 英希

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

理学療法の対象となる障害をイメージできるようにする。
障害が生じる機序と解剖・生理・運動学の知識を関連づけられるようにする。

講義概要

リハビリテーション対象者の全体像を把握するために必要となる障害学について体験しながら学ぶ。
各講義で分散して学んでいる基礎医学の知識を統合する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1　理学療法からみた障害学	講義・演習
	1) 対象となる疾患	〃
2)	2) 対象となる障害	〃
3)	3) 障害の分類	〃
4)	2　各論　正常な状態の理解と障害の病態生理	〃
	1) 筋収縮に関わる要素	〃
5)	2) 筋力と筋持久力	〃
6)	3) 筋力低下	〃
7)	4) 関節可動域制限	〃
8)	5) 歩行能力低下	〃

成績評価方法
すべての講義が終了した後、筆記試験を行います。

教科書・授業資料
講義時にプリントを配布します。
中村隆一・他：基礎運動学. 第 6 版, 医歯薬出版, 2003.

参 考 書

準備学習等

解剖学や生理学の講義内容をよく復習しておいてください。

担当者からのメッセージ
今、そしてこれから履修する多くの講義で学ぶ内容は膨大な量なのですが、相互の繋がりを理解することで「使える知識」として身につけることができます。知識を上手く身につけるためのヒントを話します。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行ってください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
基礎理学療法Ⅲ	講義	1年次・3学期	1(15)

担当者
吉田 耕治

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

理学療法分野の専門家として、理学療法の発展に寄与する研究を行うための基礎を学ぶ。
研究に必要な思考過程や倫理観を学ぶ。

講義概要

理学療法における研究のタイプについて学ぶ。統計の基本と解釈について学ぶ。
身近な疑問をテーマに一連の研究の流れを体験する。
プレゼンテーションの方法について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	研究の必要性について	講義
2)	研究の必要性について	〃
3)	研究疑問の整理方法	〃
4)	研究が備えておくべき条件	〃
5)	研究のデザイン	〃
6)	研究のバイアスについて	〃
7)	統計学演習	〃
8)	統計学演習	〃
9)	統計学演習	〃
10)	研究計画の立案	〃
11)	研究の実施	〃
12)	研究の実施	〃
13)	論文の記述方法	〃
14)	プレゼンテーションに必要なマナー	〃
15)	プレゼンテーション演習	〃

成績評価方法
参加状況・筆記試験

教科書・授業資料

参 考 書

内山 靖,島田 裕之：標準理学療法学 専門分野 理学療法研究法. 第3版, 医学書院, 2013.

準備学習等

教科書をしっかり読んでから講義に臨みましょう。日常で感じている疑問を整理しておきましょう。

担当者からのメッセージ

目の前の患者さんに全力を尽くすのは当然のことです。ですが、優秀な研究を行えば、将来もっと多くの患者さんに貢献できるでしょう。自由な発想を大切にしながら、研究の基礎を学びましょう。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し、解決するために質問はできるだけ講義中に行って下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
基礎理学療法演習	演習	1年次・2,3学期	1(30)

担当者
花崎 加音・岡田 裕・他

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

医療人に必要とされるコミュニケーションとは何かを考え、実践することで医療コミュニケーション能力の基礎を身につける。

講義概要

グループワーク、ロールプレイ発表、ディスカッション

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	導入	
2)	身だしなみについて	
3)	ディスカッション1-①	
4)	ディスカッション1-②	
5)	ディスカッション2-①	
6)	ディスカッション2-②	
7~10)	医療面接	
11~13)	医療面接実技演習	
14~15)	医療面接実技指導	

成績評価方法
筆記試験、医療面接実技指導における得点（実技試験評点が8割を占め合否のみ判定される）

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ
医療人には対象者への共感力、および立場を尊重した態度が必要不可欠とされます。自らの特徴を客観的に把握し、良きをのばし、足りなきを補うよう、学生相互に協力して積極的に取り組みましょう。

担当教員への連絡法
声を掛けて下さい。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床運動学	講義	2年次・2学期	1(15)

担当者
松本 晋輔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

動作の生体力学的メカニズムとその解釈について学習する。

講義概要

運動学により習得した基礎知識をふまえ、動作分析を中心に学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	生体力学の基礎	講義
2)	〃	〃
3)	〃	〃
4)	〃	〃
5)	〃	〃
6)	正常動作（寝返り、起き上がり）	〃
7)	〃	〃
8)	正常動作（椅子からの立ち上がり、床からの立ち上がり）	〃
9)	〃	〃
10)	歩行	〃
11)	〃	〃
12)	〃	〃
13)	〃	〃
14)	〃	〃
15)	〃	

成績評価方法
出席状況，筆記試験

教科書・授業資料

参 考 書
1) 月城慶一・他：観察による歩行分析. 医学書院, 2005.
2) 市橋則明・編：運動療法学 障害別アプローチの理論と実際. 第2版, 文光堂, 2014.

準備学習等

運動学序論の内容を復習しておいて下さい。

担当者からのメッセージ

患者はなぜそう動くのか、そのヒントになればと思います。

担当教員への連絡法

講義中に指示します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
評価学 I	講義	1年次・1,2学期	2(30)

担当者
阿部 菜海子

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・リハビリテーションにおける評価の概念を理解できる。　・評価の対象と方法が理解できる。
・評価実施上の留意点が理解できる。

講義概要

リハビリテーションにおける評価の意義などの総論を始め、医療面接、形態測定、感覚検査、反射、脳神経テスト、協調性テスト、姿勢反射テストなどの各種検査法について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	評価法総論（定義・目的・対象・記録・報告）	講義
2)	評価法総論（定義・目的・対象・記録・報告）	〃
3)	評価法各論：医療面接・観察	〃
4)	評価法各論：呼吸・循環・代謝	〃
5)	評価法各論：感覚検査	〃
6)	評価法各論：感覚検査	〃
7)	評価法各論：反射テスト	〃
8)	評価法各論：反射テスト	〃
9)	評価法各論：脳神経テスト	〃
10)	評価法各論：脳神経テスト	〃
11)	評価法各論：意識レベル・形態測定（身体測定・姿勢評価）	〃
12)	評価法各論：姿勢調節機能・バランステスト	〃
13)	評価法各論：協調性テスト	〃
14)	評価法各論：協調性テスト	〃
15)	まとめ	〃

成績評価方法
筆記試験・レポート課題・出席状況

教科書・授業資料
1）潮見泰藏・他：リハビリテーション基礎評価学. PT•OTビジュアルテキスト, 第1版増補, 羊土社, 2019.
2）田崎 義昭・他：ベッドサイドの神経の診かた. 第18版, 南山堂, 2016.

参 考 書

準備学習等
プリントを確認して教科書の範囲を予習してきてください。

担当者からのメッセージ
学習量が多いので大変かと思いますが、重要な内容ばかりです。コツコツ努力して下さい。

担当教員への連絡法
教員室を訪ねてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
評価学Ⅱ	講義	1年次・3学期	1(30)

担当者
花岡 彩・平林 早也果・森川 芳彦

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

筋緊張・片麻痺の評価について理解する。片麻痺の評価について理解する。小児の発達段階について説明できる。発達段階の評価について理解する。各段階における特徴、課題について理解する。

講義概要

新生児からの正常発達についての知識をつけ、各種評価法について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	評価法各論：筋緊張	講義
2)	評価法各論：筋緊張	演習
3)	評価法各論：片麻痺の評価	講義
4)	評価法各論：片麻痺の評価	講義・演習
5)	評価法各論：バランス	演習
6)	姿勢反射の発達	〃
7)	運動発達（0～6カ月）	〃
8)	運動発達（7～12カ月）	〃
9)	上肢機能の発達	〃
10)	ADLの発達（食事・排泄・更衣）	〃
11)	遊びの発達，感覚・知覚・認知・社会性の発達	〃
12)	発達評価（運動発達の検査）	〃
13)	発達評価（認知・言語・社会性の検査）	〃
14)	発達評価（感覚-運動機能の検査）	〃
15)	発達評価（ADLの検査）	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
1）潮見泰藏・他：リハビリテーション基礎評価学. PT•OTビジュアルテキスト, 第1版増補, 羊土社, 2019.
2）上杉雅之・監：イラストでわかる人間発達学. 医歯薬出版, 2015.

参 考 書　木原秀樹：240動画でわかる　赤ちゃんの発達地図. メディカ出版, 2012.
高橋秀寿：小児リハビリテーション評価マニュアル. 医学書出版, 診断と治療社, 2015.
J.H.de Hass：乳児の発達 写真で見る0歳児. 医歯薬出版, 1977.

準備学習等

担当者からのメッセージ

講義後、その都度、しっかり復習しましょう。

担当教員への連絡法

教員室を尋ねて下さい。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
評価学Ⅲ	講義	1年次・3学期	1(30)

担当者
岡田 裕・松田 英希

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

リハビリテーションの対象となる障害の評価方法と、その結果解釈について学ぶ。

講義概要

各疾患の障害を引き起こす原因を理解し、評価の進め方、ポイントを学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1　評価法総論	講義
2)	2　関節可動域の評価	〃
3)	〃	〃
4)	3　筋力の評価	〃
5)	4　感覚の評価	〃
6)	5　疼痛の評価	〃
7)	6　随意運動障害と筋緊張の評価	〃
8)	〃	〃
9)	7　協調運動障害の評価	〃
10)	8　高次脳機能障害の評価	〃
11)	9 歩行障害の評価	〃
12)	〃	〃
13)	〃	〃
14)	10 検査バッテリー・評価表を用いた	〃
15)	11 評価診療記録の記載の方法	〃

成績評価方法
期末試験を行います。実技的内容を含むので講義態度も成績評価の対象とします。

教科書・授業資料

プリントを配布します。

参 考 書
1）潮見泰藏・他：リハビリテーション基礎評価学. PT•OTビジュアルテキスト, 第1版増補, 羊土社, 2019.
2）田崎 義昭・他：ベッドサイドの神経の診かた. 第18版, 南山堂, 2016.

準備学習等

評価学Ⅰ・Ⅱで学習した内容を復習しておいて下さい。

担当者からのメッセージ
正確な評価手技と、正しい結果解釈は効果のある治療を行うために不可欠です。講義時間だけでなく自主的に時間を作って練習しておきましょう。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行って下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
評価学基礎実習	実習	1年次・2学期	1(45)

担当者
小林伸江・松田英希・松本琢磨・山下徹郎

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士、作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
・関節可動域測定ができる。　・各検査手技における代償動作について理解する。
・徒手筋力検査法を実施し、結果を判定できる。・血圧測定、反射検査、感覚検査を実施し、結果を判定できる。

講義概要

理学療法，作業療法における評価法の演習を行い学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	オリエンテーション、ROM総論	講義
2)	ROM上肢	実習
3)	ROM手指	〃
4)	ROM下肢	〃
5)	ROM頚部、体幹	〃
6)	血圧測定	〃
7)	反射	〃
8)	反射	〃
9)	感覚検査	〃
10)	感覚検査	〃
11)	MMT総論	講義
12)	MMT肩甲帯	実習
13)	MMT上肢、手指	〃
14)	MMT下肢	〃
15)	MMT頚部、体幹、顔面	〃

成績評価方法
筆記試験、実技試験

教科書・授業資料　1) 津山直一・訳：新・徒手筋力検査法. 第9版, 協同医書出版社, 2014.
2) 潮見泰藏・他：リハビリテーション基礎評価学. PT・OTビジュアルテキスト, 第1版増補, 羊土社, 2019.
3) 田崎 義昭・他：ベッドサイドの神経の診かた. 第18版, 南山堂, 2016.

参 考 書

準備学習等
解剖学（筋・骨・神経）の復習をしてください。

担当者からのメッセージ
動きやすい格好で授業に参加してください。
講義順序などが入れ替わる可能性があります。

担当教員への連絡法
疑問は皆で共有するため、質問はできるだけ講義中に行ってください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
運動療法学	講義	2年次・1学期	2(30)

担当者
松本 晋輔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

運動療法の基本的理論と方法を理解･習得する。

講義概要

解剖学・生理学・運動学の知識を整理し、運動療法の基礎理論を習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	骨の構造と機能	講義
2)	関節の構造と機能	〃
3)	筋の構造と機能	〃
4)	神経の構造と機能	〃
5)	運動と呼吸機能	〃
6)	運動と循環機能	〃
7)	運動と代謝機能	〃
8)	運動学習	〃
9)	老化と運動機能	〃
10)	関節可動域制限に対する運動療法	〃
11)	筋力低下に対する運動療法	〃
12)	持久力低下に対する運動療法	〃
13)	バランス障害に対する運動療法	〃
14)	加齢による機能障害に対する運動療法	〃
15)	その他	〃

成績評価方法
筆記試験、出席状況

教科書・授業資料

市橋 則明・編：運動療法学 障害別アプローチの理論と実際. 第２版, 文光堂, 2014.

参 考 書

吉尾雅春・編：標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論. 第4版, 医学書院, 2016.

準備学習等

関節の構造と運動、筋収縮のメカニズム、神経生理学を中心に復習して下さい。

担当者からのメッセージ

治療の基礎となる基本的な運動療法について、まずはその理論をしっかりと理解して下さい。

担当教員への連絡法

講義の中で指示します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
運動療法基礎実習	実習	2年次・3学期	1(45)

担当者
岡田　裕・他

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

1.運動療法の治療理論と治療技術について学ぶ。
2.治療における理学療法士の構え、手の使い方および介助法を学ぶ。

講義概要

理学療法の基本的治療技術を習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1　基本技術・治療理論	
1,2)	(1) 呼吸器および循環器疾患に対する評価および治療手技	講義・実習
3,4)	(2) 急性期患者の離床に対する評価	〃
5)	(3)評価・治療技術演習	〃
6)	〃	〃
7)	〃	〃
	2　応用技術	〃
8)	(1) 疾患・障害に応じた起居動作，介助法	〃
9)	〃	〃
10)	(2) 疾患・障害に応じた移乗動作，介助法	〃
11)	〃	〃
12)	(3) 疾患・障害に応じた歩行練習介助法	〃
13)	〃	〃
14)	(4) 疾患・障害に応じた応用歩行介助法	〃
15)	〃	〃

成績評価方法
出席状況、授業態度、筆記試験

教科書・授業資料

資料配布

参 考 書

準備学習等

運動療法学Ⅱ、日常生活活動基礎実習の復習をして臨んで下さい。

担当者からのメッセージ
治療技術は、まず裏づけとなる理論を理解することが重要です。その上で基本的な理学療法技術を習得しましょう。

担当教員への連絡法

教員室を訪ねてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学Ⅰ	講義	2年次・1学期	1(30)

担当者
松田 英希

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
1.中枢神経疾患を理解するために解剖学・生理学・神経内科学・脳外科学を統合し、知識を深める。
2.中枢神経疾患および脳外傷の障害像を理解した上で、急性期から維持期までの理学療法評価および治療について学ぶ。

講義概要

脳血管障害、頭部外傷等の中枢神経系の障害と、その理学療法について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	中枢神経理学療法の基礎知識	主に講義を行いますが、治療法については一部デモを行います。
2)	運動と感覚の中枢機能と構造	
3)	脳損傷の定義とその回復	
4)	脳血管障害における医学管理	
5)	〃	
6)	脳血管障害におけるリハビリテーションの流れ	
7)	脳血管障害後片麻痺患者の運動障害の特徴	
8)	脳血管障害後片麻痺に対する評価	
9)	〃	
10)	脳血管障害後片麻痺患者に対するトレーニング	
～12)		
13)	脳血管障害における合併症 高次脳機能障害と理学療法	
14)	脳血管障害における理学療法の実際	
15)	頭部外傷の理学療法	

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料　1) 花北順哉・訳：神経局在診断. 第6版, 文光堂, 2016.
1) 大畑光司・他：神経障害理学療法学Ⅰ 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト. 中山書店, 2011.
3) 潮見泰藏：PT・OTビジュアルテキスト 神経障害理学療法学. 第1版, 羊土社, 2018.

参 考 書
1) 原 寛美：脳卒中理学療法の理論と技術. 第3版, メジカルビュー, 2019.
2) 坂井建雄：プロメテウス 解剖学コアアトラス. 第3版, 医学書院, 2019.

準備学習等

1年次に受講した「解剖学Ⅲ」・「神経生理学」を必ず復習しておいてください。

担当者からのメッセージ
一般病院、介護施設、在宅リハビリテーションなど、いずれのカテゴリーでも必ず遭遇する脳血管障害や脳外傷についてしっかり学びましょう。

担当教員への連絡法

教員室を訪ねてください。質問は時間内にして全員で共有しましょう。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学Ⅱ	講義	2年次・3学期	1(15)

担当者
矢吹 眞弓

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
・運動発達障害を伴う疾患等（脳性麻痺・重症心身障害・ダウン症候群等）を概説できる。
・運動発達障害をもつ子どもの「目標設定・治療の考え方」を理解する。
・疾患・症状に対するエビデンスに基づく治療を知る。

講義概要
脳性麻痺・重症心身障害・ダウン症候群等について、疾患や障害の成り立ちを学習する。また、DVD 視聴なども通して、運動発達障害が生活にどのように影響するか具体的に考える。それらの知識をもとに「評価から問題解決にいたる一連の過程」を理解できるようになる。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	小児の運動障害に対する治療の歴史	講義
2)	小児期の運動発達障害の基本構造	〃
3)	脳性麻痺　1．定義と分類	〃
4)	2．一次障害と二次障害	〃
5)	3．痙直型とアテトーゼ型	〃
6)	4．障害部位の違いを知る	〃
7)	5．評価と予後予測	〃
8)	6．エビデンスに基づく治療	〃
9)	重症心身障害（重度・重複障害を考える）	〃
10)	医療ケア児を考える	〃
11)	ダウン症候群	〃
12)	運動発達障害を伴う様々な疾患（DMD、 SB、ASD、ADHDなど）	〃
13)	運動発達障害をもつ子ども達（DVD でみる子ども達）	〃
14)	運動発達障害をもつ子ども達（DVD でみる子ども達）	〃
15)	発達障害をもつ子ども達に対する理学療法（まとめ）	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
1) 奈良 勲・監：標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論. 第４版, 医学書院, 2017.
2) 伊藤 利之・他：新版 日常生活活動 (ADL) 評価と支援の実際. 医歯薬出版, 2010.

参 考 書
E.Bower 編著:脳性まひ児の家庭療育. 第4版, 医歯薬出版, 2014.

準備学習等
小児の発達に関する基礎知識の整理をしておくこと。特に運動発達の指標となる動作は、運動学的な知識の整理・小児科学や解剖学の復習が必要です。

担当者からのメッセージ
小児は難しいと構えないでください。ファジーな部分はあるかも知れませんが、理学療法の基本に従うことには何ら変わりありません。発達という視点が加わることで視野が広がるかも…。

担当教員への連絡法
必要に応じて質問に来てください。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学Ⅲ	講義	2年次・1学期	1(30)

担当者
笘野 稔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

外傷による障害に対する理学療法の知識・技術を習得する。
臨床実習が円滑に進められるよう系統的に学習する。

講義概要

理学療法の対象となることの多い骨折、末梢神経損傷等の外傷による障害について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	外傷学総論	講義
2)	骨折総論	〃
3)	骨折（1）	〃
4)	骨折（2）	〃
5)	骨折（3）	〃
6)	骨折（4）	〃
7)	骨折（5）	〃
8)	末梢神経損傷（1）	〃
9)	末梢神経損傷（2）	〃
10)	末梢神経損傷（3）	〃
11)	熱傷（1）	〃
12)	熱傷（2）	〃
13)	その他の外科的疾患（乳癌術後、等）	〃

成績評価方法
中間試験と期末試験を筆記にて行います。

教科書・授業資料
1）奈良 勲・監：標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論. 第４版, 医学書院, 2017.
2）井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.

参 考 書

吉尾 雅春・編：標準理学療法学 専門分野 骨関節理学療法学. 医学書院, 2013.

準備学習等

担当者からのメッセージ
外傷による障害に対して理学療法を行う際、何を考え、何を感じ、何に注意する必要があるのか？
講義は常に考えながら聴いて下さい。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行って下さい。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学Ⅳ	講義	2年次・1学期	1(30)

担当者
大西　重徳

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

整形外科に関する知識、技術の統合化を図り、臨床実習が円滑かつ効果的に進められるよう総合的、系統的に学習する。

講義概要

各整形外科疾患の概要と、それらに対する理学療法について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1, 2)	変形性股関節症	講義・実技
3, 4)	変形性膝関節症	
5, 6)	関節リウマチ	
7)	椎間板ヘルニア	
8)	脊柱管狭窄症（腰痛を含む）	
9)	胸郭出口症候群、頸髄症	
10)	五十肩、肩板損傷	
11)	膝靭帯損傷	
12)	半月板損傷	
13,14)	スポーツ外傷・障害（野球肩、野球肘、TFCC 損傷、肉離れ、捻挫　など）	
15)	実技（テーピングなど）	

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
1）井樋栄二・他編：標準整形外科学. 第14版, 医学書院, 2020.
2）奈良 勲・監：標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論. 第４版, 医学書院, 2017.

参 考 書

準備学習等

整形外科学の教科書を熟読し、疾患の理解をしておいて下さい。

担当者からのメッセージ
整形外科疾患は理学療法士にとっては外すことのできない分野です。
疾患の理解がベースになりますので、しっかりと準備をしておいて下さい。

担当教員への連絡法

質問はできるだけ講義中に行って下さい。疑問は全員で共有したいと思います。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学Ⅴ	講義	2年次・1学期	1(30)

担当者
花崎 加音・佐藤 宏樹

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
・呼吸・循環器系に関する基礎（解剖学・生理学・運動学など）や、各種検査の解釈について学習する。
・呼吸循環器系疾患を対象にした理学療法について学習する。
・糖尿病を中心に、代謝疾患の基礎とそれに対する理学療法について学習する。

講義概要

呼吸・循環器疾患、代謝疾患の概要と、それらに対する理学療法について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	内部障害理学療法概論	講義
2)	循環器障害の理学療法	〃
3)	1　呼吸器・循環器系の解剖　2　循環器系の生理	〃
4)	3　循環機能の評価・フィジカルアセスメント・呼吸理学療法評価	〃
5)	4　虚血性心疾患　5　心不全	〃
6)	6　開胸術後　7・8　心電図モニター	〃
7)	代謝疾患の理学療法	〃
8)	がん疾患・血管疾患の理学療法	〃
9)	呼吸器障害の理学療法	〃
10)	1　呼吸器系の生理	〃
11)	2　呼吸機能の評価・フィジカルアセスメント・呼吸理学療法評価	〃
12)	3　慢性閉塞性肺疾患（COPD）	〃
13)	4　間質性肺炎・肺炎　5　外科手術後・吸引	〃
14)		〃
15)		〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料　1) 高橋哲也・編：ビジュアルレクチャー 内部障害理学療法学 第2版. 医歯薬出版, 2017.
2) 医学情報科学研究所：病気がみえる vol.4 呼吸器. 第2版, メディックメディア, 2018.
3) 医学情報科学研究所：病気がみえる vol.2 循環器. 第4版, メディックメディア, 2017.（他は下段に記載）

参 考 書　4) 谷村 仲一・監：心電図モニター. 第4版, へるす出版, 2018.

準備学習等
心電図は心電図モニターテキストを使用します。使用時に指定します。また「病気がみえる」シリーズは疾患の病理の理解にサブテキストとして利用します。

担当者からのメッセージ
専門的で難解な部分もありますが、基礎疾患として存在していることが多く、関わる機会も多い疾患群です。しっかり学習しましょう。

担当教員への連絡法

質問はなるべく講義中にして、知識を共有しましょう。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学VI	講義	2年次・3学期	1(15)

担当者
松本 晋輔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

脊髄損傷に関する知識、技術の統合化を図り、臨床実習が円滑かつ効果的に進められるように総合的、系統的に学習する。

講義概要

脊髄損傷に関する知識の整理と理学療法評価・治療について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	脊髄損傷	講義
1) ～	(1) 発生機序	〃
～3)	(2) 臨床症状	〃
4)	(3) 検査・測定及び評価	〃
5)	〃	〃
6)	〃	〃
7)	(4) 合併症とその管理	〃
8)	〃	〃
9) ～	(5) 理学療法	〃
	a. 急性期	〃
	b. 回復期	〃
～15)	c. 維持期	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

吉尾 雅春・監：標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論. 第4版, 医学書院, 2017.

参 考 書

準備学習等

脊髄に関する解剖学，生理学を復習しておいて下さい。

担当者からのメッセージ
四肢麻痺、対麻痺など障害像をいかにイメージできるかがポイントです。この講義で知識を増やし、脊髄損傷患者の姿勢・動作の特徴を理解して下さい。

担当教員への連絡法

講義の中で指示します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学Ⅶ	講義	2年次・2,3学期	1(30)

担当者
河島 隆貴・中上 佑子・中野 直美

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

神経筋疾患に関する知識、技術の統合化を図り、臨床実習が円滑かつ効果的に進められるよう総合的、系統的に学習する。

講義概要

神経疾患に対する基本的知識の整理行う。また、それぞれの疾患に対する理学療法が理解できるように講義を行う。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1．神経筋疾患について	講義
2)	〃	〃
	2．神経筋疾患の理学療法	
3)	パーキンソン病	〃
～5)	〃	〃
6) 7)	多系統萎縮症	〃
8) 9)	多発性硬化症	〃
10)	ギランバレー症候群	〃
11)	〃	〃
12)	筋萎縮性側索硬化症	〃
13)	〃	〃
14)	多発性筋炎	〃
15)	〃	〃
		〃
		〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

潮見泰藏：PT・OTビジュアルテキスト 神経障害理学療法学. 第1版, 羊土社, 2018.

参 考 書
1) 川平 和美・編：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学.第4版,医学書院,2013.
2) 大畑 光司, 玉木 彰・編：神経障害理学療法学Ⅱ.15レクチャーシリーズ理学虜法テキスト,中山書店,2012.

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学Ⅷ	講義	2年次・3学期	1(30)

担当者
花崎 加音

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

治療学Ⅴで学習した基本的な知識をもとに、模擬症例に対する理学療法を考えることで理解を深める。グループ学習を通して主体的な学習態度を身につける。

講義概要

PBL（Problem Based Lernning) 内部障害を呈した模擬疾患を教材にグループワーク（GW）で学び、成果を発表する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	PBL導入・呼吸器疾患①GW	全てPBLをとおしてのGW 発表に際しては疾患ごとに各班で学習成果の資料を提出すること
2)	呼吸器疾患①GW	
3)	呼吸器疾患①GW	
4)	呼吸器疾患①発表・討議・ミニ講義	
5)	呼吸器疾患②GW	
6)	呼吸器疾患②GW	
7)	呼吸器疾患②発表	
8)	呼吸器疾患②発表・討議・ミニ講義	
9)	循環器疾患GW	
10)	循環器疾患GW	
11)	循環器疾患GW	
12)	循環器疾患発表・討議・ミニ講義	
13)	代謝疾患GW	
14)	代謝疾患GW	
15)16)	代謝疾患発表・討議・ミニ講義	

成績評価方法
授業態度、GW資料・発表に対する評価、期末テスト

教科書・授業資料　1) 高橋哲也・編：ビジュアルレクチャー 内部障害理学療法学 第2版. 医歯薬出版, 2017.
2) 医学情報科学研究所：病気がみえる vol.4 呼吸器. 第3版, メディックメディア, 2018.
3) 医学情報科学研究所：病気がみえる vol.2 循環器. 第4版, メディックメディア, 2017.（他は下段に記載）

参 考 書　4) 谷村 仲一・監：心電図モニター. 第4版, へるす出版, 2018.

準備学習等

担当者からのメッセージ
臨床像を通して基礎学習の理解を深めましょう。わからないことは尋ねてください。わからないことをそのままにしますか？それともわかるまで粘りますか？理解度はあなたの臨床家としての責任感を示すでしょう。

担当教員への連絡法

授業時間中に直接質問してください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学IX	講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
阿部　菜海子

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
・高次脳機能障害について説明ができる。
・主な高次脳機能障害の特徴が説明でき、責任病巣が説明できる。
・臨床場面における症状の評価内容の選択ができるようになる。

講義概要

各種高次脳機能障害について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	高次脳機能障害総論	講義
2)	高次脳機能障害の評価	〃
3)	注意障害	〃
4)	注意障害	〃
5)	注意障害・見当識障害・意識障害	〃
6)	記憶障害	〃
7)	記憶障害	〃
8)	失行（観念失行・観念運動失行・肢節運動失行・着衣失行・構成失行）	〃
9)	失認（視覚性：物体・相貌・色彩）	〃
10)	失認（視空間：半側視空間・地誌・バリント症候群）	〃
11)	失認（その他：聴覚・触覚・身体・手指・左右）	〃
12)	遂行機能障害	〃
13)	その他の前頭葉症状	〃
14)	頭部外傷総論	〃
15)	高次脳機能障害と自動車運転	〃

成績評価方法
筆記試験・レポート課題

教科書・授業資料

能登真一：標準作業療法学　専門分野　高次脳機能作業療法学　第２版．医学書院，2019.

参 考 書
石合純夫：高次脳機能障害学　第２版．医歯薬出版，2012.
田崎 義昭・他：ベッドサイドの神経の診かた.第18版,南山堂,2016

準備学習等

脳の機能局在など解剖・生理学などの脳に関する範囲を復習しておいて下さい。

担当者からのメッセージ
見た目に分かりにくい症状もありますが、臨床上大きく影響する症状です。興味を持ってもらえればよいと思っています。

担当教員への連絡法

教員室に。講義中でも可能です。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学X	講義	2年次・2,3学期	1(30)

担当者
岡田 裕・笘野 稔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

下肢切断を中心に、義足・適合判定・理学療法に関する基礎的知識を理解・習得する。
補装具の基本的知識の整理を行う。各疾患に使用する補装具の知識・理解を深める。

講義概要

切断・義足に関する知識を学ぶ。切断者に対する理学療法を学ぶ。
補装具に関する知識を学ぶ。補装具を用いた理学療法を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	基本事項（1）下肢切断理解に必要な解剖学と運動学　（2）切断高位	講義
	（3）切断の原因　（4）下肢末梢動脈疾患と切断　(5)切断術	〃
	義足の構造とアライメントの理論（1）ソケット　（2）継手	〃
	（3）足部　（4）懸垂装置	〃
2)	（5）アライメント（ベンチ・スタティック・ダイナミック）の理論	〃
3)	下肢切断のリハビリテーション総論	〃
4)	理学療法（1）評価と病態解釈　（2）理学療法方法論	〃
5)	適合判定	〃
6)	まとめ	〃
7)	装具療法総論	〃
8),9)	補装具のバイオメカニクス	〃
10,11)	片麻痺の補装具	〃
12)	脊髄損傷の補装具	〃
13)	先天性股関節脱臼の補装具	〃
14)	ペルテス病の補装具	〃
15)	側弯症の補装具	〃

成績評価方法
義肢に関する内容と装具に関する内容それぞれで筆記試験を行います。

教科書・授業資料　1) 日本整形外科学/日本リハビリテーション医学会：義肢装具のチェックポイント. 第8版, 医学書院, 2014. 2) 永冨 史子・編：15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 義肢学. 中山書店, 2011. 3) 佐竹 将宏・編：15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 装具学. 第2版, 中山書店, 2020.

参 考 書

準備学習等

2年次1学期に受講した義肢装具学の内容を復習しておきましょう。

担当者からのメッセージ　切断者のリハビリテーションは義足での歩行に眼が向きがちですが、それは正しい視点ではありません。また、義足は装着してすぐに使いこなせるわけではないです。講義を通じて正しい思考過程を身につけましょう。各疾患に対する補助具の目的や特徴，生体に及ぼす力を理解しましょう。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行って下さい。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学XI	講義	2年次・3学期	1(30)

担当者
河島 隆貴・大西 重徳・松田 英希

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

基礎知識を整理する。
臨床思考を学び、理学療法の専門知識に結びつける。

講義概要

・グループ学習を通して、学生が主体的に学習し理解を深める。
・ワークショップを通して知識を共有する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
各　回	理学療法士国家試験の過去問題を用いたグループ学習を行う。 共通問題・専門問題から傾向を掴み、重要な部分やその周辺知識を整理する。 ワークショップを通して知識を共有する。	グループ学習 ワークショップ

成績評価方法
各学期のペーパーテスト。

教科書・授業資料
1) 電気書院編集部：2021年版 理学療法士・作業療法士 国家試験過去問題集 共通問題10年分. 電気書院, 2020.
2) 電気書院編集部：2021年版 理学療法士 国家試験過去問題集 専門問題10年分. 電気書院, 2020.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ
臨床実習や国家試験に向けて、知識や学習習慣を身につけましょう。
学習して知識を深めることの喜びを共有しましょう。

担当教員への連絡法
教員室を訪ねて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
治療学演習	演習	2年次・1学期	1(30)

担当者
理学療法学科教員

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

運動療法に必要な基本的評価・治療技術を身に付ける。

講義概要

基本的な評価・治療手技を講義と実技練習で習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	統合と解釈	講義, 演習, 実技
2)	座位・立位バランス	〃
3)	起居動作時のリスク管理	〃
4)	起き上がり、移乗の動作分析	〃
5)	歩行分析	〃
6)	歩行練習の進め方	〃
7)	他動的関節可動域運動、筋伸張運動（上肢）	〃
8)	筋伸張運動（下肢）、関節モビリゼーション	〃
9)	徒手抵抗運動	〃
10)	CKC運動、その他	〃

成績評価方法
出席状況および試験

教科書・授業資料

参 考 書
市橋 則明・編：運動療法学 障害別アプローチの理論と実際. 第２版, 文光堂, 2014.
木村 哲彦・他：新イラストによる安全な動作介助のてびき. 第3版, 医歯薬出版, 2016.

準備学習等

評価学Ⅰ～Ⅲ，運動療法学の講義で学んだ内容を復習して下さい。

担当者からのメッセージ

臨床実習時に多くの学生が難渋する項目を中心に演習を行います。本番の緊張感をもって参加して下さい。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行って下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
物理療法学	講義	2年次・3学期	2(30)

担当者
都竹 貴志・藤井 賢吾／笘野 稔・松本 晋輔・村上 朋彦

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

適切な物理療法を行えるよう、各療法について定義、目的、効果と適応、手技、リスク管理などを中心に学習する。

講義概要

物理刺激が生体に及ぼす影響を学ぶ。
各種物理療法の目的、方法等を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1）～	1総論　1.1　定義と歴史　1.2　生理学的作用　1.3　適応と禁忌	講義
	2各論　2.1　温熱療法	〃
	2.2　水治療法	〃
	2.3　超音波療法	〃
	2.4　極超短波療法	〃
	2.5　超音波療法	〃
	2.6　電気刺激療法	〃
	2.7　寒冷療法	〃
	2.8　光線療法	〃
～10）	2.9　牽引療法	〃
11）～	各種療法	講義・実習
～15）	温熱療法　寒冷療法　光線療法　電気療法　水治療法　牽引療法	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

木村貞治・他：物理療法学テキスト シンプル理学療法学シリーズ. 第2版, 南江堂, 2013.

参 考 書

準備学習等

上記教科書にて各物理療法の生理学的作用、目的、方法、禁忌を中心に勉強してください。

担当者からのメッセージ
物理療法は運動療法と並んで理学療法における重要な治療手技です。物理刺激が何に対して、どういう理由で、どんな変化をもたらすのか。講義は考えながら聞いてください。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行ってください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
日常生活活動学	講義	1年次・3学期	2(30)

担当者
阿部 菜海子・小林 伸江

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
- ・日常生活活動とは何かが説明できる。
- ・日常生活活動の評価法および指導法を理解する。
- ・国際分類で日常生活活動を表現できる。

講義概要
- ・日常生活活動とは何かについて学習する。
- ・日常生活活動の評価法および指導法について基本的な事項を学習する。
- ・国際分類で日常生活活動を表現する方法を学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	日常生活活動概論	講義
2)	日常生活活動概論	〃
3)	生活関連動作	〃
4)	生活関連動作	〃
5)	国際分類	〃
6)	国際分類	〃
7)	日常生活活動評価法	〃
8)	日常生活活動評価法	〃
9)	生活関連動作評価法	〃
10)	FIM	〃
11)	FIM	〃
12)	支援機器	〃
13)	自助具	〃
14)	疾患別日常生活活動方法	〃
15)	疾患別日常生活活動方法	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
1) 千野直一・他：脳卒中の機能評価ーSIASとFIM 基礎編. 金原出版, 2012.
2) 伊藤 利之・他：新版 日常生活活動 (ADL) 評価と支援の実際. 医歯薬出版, 2014.

参 考 書
千住秀明・監：理学療法テキストV 日常生活活動学 (ADL) . 第2版, 神陵文庫, 2007.

準備学習等
復習を中心に学習してください。

担当者からのメッセージ
日常生活活動の自立はリハビリテーションにとって重要な目標です。対象者に援助する基礎をしっかりと学習してください。

担当教員への連絡法
授業中もしくは職員室をたずねてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
日常生活活動基礎実習	実習	2年次・1学期	1(45)

担当者
岡田 裕・河島 隆貴・小林 伸江・松本 晋輔・松本 琢磨

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士、作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

起居・移乗・移動動作を中心に、障害に対する動作方法・介助法について講義や実習を通して理解・習得する。

講義概要

基本動作の方法・介助法を習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1）～ ～15)	1　介助法の原理 2　リフティング 3　片麻痺の基本動作と介助法 4　整形外科疾患の基本動作と介助法 5　杖歩行とその介助法 6　車椅子移動とその介助法 7　その他	講義および実習

成績評価方法
出席状況，実習状況，筆記試験、実技試験

教科書・授業資料

柴 喜崇・他：PT・OTビジュアルテキスト ADL. 第1版, 羊土社, 2015.

参 考 書

金田嘉清・編著：PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編．金原出版，2017.

準備学習等

担当者からのメッセージ

この実習を通して、自分の身体の使い方や対象者の動きを感じる感覚を養って下さい。

担当教員への連絡法

実習の中で指示します。

科目名	義肢装具学	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1・2学期	1(30)

担当者
笈野 稔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

義肢装具に関する基礎的知識と適合判定について学習する。

講義概要

義肢装具の名称と適応する疾患を学ぶ。
義肢装具の基本構造を理解する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1　総論	講義
	1.1　定義と歴史	〃
2)	2　義肢	〃
	2.1　切断の原因と切断術	〃
3)	2.2　義肢の構成部品と材料	〃
4) 5)	2.3　義足	〃
6)	2.4　義手	〃
7)	3.　装具	〃
	3.1　装具の使用目的	〃
8) 9)	3.2　下肢装具	〃
10)11)	3.3　体幹装具	〃
12)	3.4　上肢装具	〃
13)	3.5　靴型装具	〃
14)	3.6　歩行補助具	〃
15)	3.7　車椅子	〃

成績評価方法
中間試験と期末試験を行います。

教科書・授業資料

日本整形外科学/日本リハビリテーション医学会：義肢装具のチェックポイント. 第8版, 医学書院, 2014.

参 考 書

永冨 史子・編：15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 義肢学. 中山書店, 2011.

準備学習等

担当者からのメッセージ
義肢装具の形状や用いられる材質には全て意味があります。講義では図や写真を用いた説明だけでなく実物も持ち込みます。触ったり身につけたりして形状や材質の意味を考えて下さい。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行って下さい。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
地域リハビリテーションⅠ	講義	1年次・1学期	2(30)

担当者

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

講義概要

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	114 頁『地域リハビリテーションⅠ』参照	

成績評価方法

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
地域リハビリテーションII	講義	2年次・2学期	2(30)

担当者
木村 理恵・山田 佳奈・鷲田 明広

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

地域における対象者の生活環境について、リハビリテーションに必要な評価や治療計画などとの関係を説明できる。

講義概要

各種リハビリテーション関連機器の適応や使い方、必要な物理的環境について学ぶ。
利用できる各種の制度について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	生活環境整備 ① 総論	講義
2)	生活環境整備 ② 各論 1	〃
3)	生活環境整備 ③ 各論 2	〃
4)	生活環境整備 発表 ①	発表
5)	生活環境整備 発表 ②	発表
6)	福祉用具 ①	講義
7)	福祉用具 ②	〃
8)	福祉用具 ③	〃
9)	福祉用具 ④	〃
10)	福祉用具 見学	見学
11)	職業リハビリテーション ①	講義
12)	職業リハビリテーション ②	〃
13)	職業リハビリテーション ③	〃
14)	職業リハビリテーション ④	〃
15)	職業リハビリテーション ⑤	〃

成績評価方法
筆記試験、出席状況、発表

教科書・授業資料
1) 野村 歡・他：OT・PTのための住環境整備論. 第2版, 三輪書店, 2012.
2) 平賀昭信・他編：職業関連活動. 作業療法学全書, 第12巻, 作業療法技術学4, 第3版, 協同医書, 2009.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床見学実習	実習	1年次・通年	1(45)

担当者
岡田 裕・他

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・必要な報告・連絡・相談が行えるようになる。
・患者に対して適切な接遇が実践できる。
・自己学習の方法を学び、実践する。
・見学内容を記載できる。

講義概要

教員による説明を受けながら、リハビリテーションセンターで実際に行われている理学療法を見学し、評価・観察・援助の考え方や方法を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1)事前学習 ・疾患調べ ・ノートの記載方法 2)臨床見学 ・治療場面の見学 3)事後学習 ・見学内容をまとめる ・個別指導	演習、実習

成績評価方法
出席状況、実習状況、課題の提出

教科書・授業資料

状況に合わせて指示します。

参 考 書

状況に合わせて指示します。

準備学習等
事前に担当教員と連絡をとり、症例の情報、見学日時を確認すること。
見学させていただく症例に基づいて必要な学習を進めること。

担当者からのメッセージ

よく見て、感じて行動してください。

担当教員への連絡法

教員室で随時対応します。

専門分野(理学療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床実習Ⅰ	実習	2年次・通年	3(135)

担当者
花崎　加音・他

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

1.職業人として望ましい行動をとれる。　2.対象者の全体像を把握できる。
3.必要な理学療法プログラムが立案できる。　4.プログラムを実施できる。
5.記録、報告ができる。　6.患者に関して知り得た情報を適切に管理できる。

講義概要

教員の指導・介入の下で患者様に評価・治療を行う。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1学期　評価実習　4〜7月　1回/週 ・基本情報、医学情報を収集する。 ・評価計画を立案し、必要な準備をする。 ・評価を実施し、結果をまとめ考察する。 ・指導を受け、再考して次回の準備を行う。 2、3学期　治療実習　9〜3月　2回/週 ・基本情報、医学情報を収集する。 ・評価結果に基づいて目標設定する。 ・目標に沿った理学療法プログラムを立案し、準備する。 ・プログラムを実施し、臨床経過をまとめ、考察する。 ・指導を受け再考して、次回の準備を行う。	臨床実習 実習ノート レジュメ 症例報告書 などの作成

成績評価方法
出席状況、実習状況、レポート、症例報告書、実技試験

教科書・授業資料
金田嘉清・他：PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編. 金原出版, 2017.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床実習Ⅱ	実習	3年次・通年	18(900)

担当者
大西 重徳・笘野 稔・他

実務経験の内容内容　病院等の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

指導理学療法士の責任と指導の下に、偏りなく各疾患、各病期、各年齢層の患者様について身体的、心理的、社会的状況を十分把握し、理学療法を行う。

講義概要

学外の実習施設にて，各施設の指導理学療法士の責任と指導の下に、患者様の評価・治療を行う。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	2年次3学期に配布する冊子『臨床実習の記録』を参照	実習

成績評価方法
出席状況、実習状況、レポート、症例報告書

教科書・授業資料

金田嘉清・他：PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編. 金原出版, 2017.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床実習特論	演習	3年次・通年	2(30)

担当者
大西 重徳・笘野 稔・他

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

理学療法を実施する上で必要な知識の確認と考え方を身につける。

講義概要

臨床実習で経験した症例について報告し、理学療法の内容を討議する。
疾患別に理学療法を整理し、再学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
12時間	症例発表会・研究発表会（4時間×3回）	演習・発表
8時間	各疾患に対する理学療法のポイント講義	講義
10時間	グループ学習会	グループ学習

成績評価方法
国家試験形式の試験を複数回実施する。

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

専 門 分 野

作 業 療 法 学 科

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
作業療法概論 I	講義	1年次・2学期	2(30)

担当者
森川 芳彦・山下 徹郎

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
作業療法について考えるために必要な知識を身につける。OTの実施されている分野・対象者・時期などを知る。OTという専門職が成立する過程を知る。OTの定義を知る。OTの対象、目標、アプローチを学ぶ。領域別・病期別のOTを知る。

講義概要
講義やグループワークを通じて、作業療法の対象・方法または理論について学ぶ。各論にて各領域の作業療法士の役割を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	オリエンテーション、グループワーク（作業療法とは何か）	演習
2)	作業療法とは？　人と作業との関わり	講義
3)	世界の作業療法の歴史	〃
4)	日本の作業療法の歴史	〃
5)	作業療法の定義	〃
6)	作業療法の理論	〃
7)	作業療法の理論	〃
8)	作業療法の理論	〃
9)	グループワーク（作業療法の仕事体験）	演習
10)	グループワーク（作業療法の仕事体験）	〃
11)	身体障害の作業療法	講義
12)	精神障害の作業療法	〃
13)	発達障害領域の作業療法	〃
14)	高齢期の作業療法	〃
15)	高次脳機能障害の作業療法・地域作業療法	〃

成績評価方法
筆記試験、提出課題

教科書・授業資料　資料プリント配布

長崎重信監修：ゴールドマスターテキスト 作業療法概論. 改訂第2版, メディカルビュー社, 2015.

参 考 書

杉原 素子・編：作業療法学全書 第1巻 作業療法概論. 第3版, 協同医書出版, 2010.

準備学習等

事前に教科書を読んでおいて下さい。

担当者からのメッセージ

作業の意味や作業療法について理解を深めてください。

担当教員への連絡法

パソコンやプロジェクターなどの教材の準備については、掲示にてお知らせします。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
作業療法概論Ⅱ	講義	2年次・1学期	2(30)

担当者
森川 芳彦・松本 琢磨

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
作業療法の実施過程を述べることができる。生活行為向上マネジメント（MTDLP）について学ぶ。
作業療法士に求められる職業倫理について理解する。記録・報告、管理・運営など、作業療法部門について必要なことを理解する。

講義概要
作業療法実施過程、生活行為向上マネジメント（MTDLP）について学習する。
作業療法士に求められる職業倫理について学習する。
作業療法に必要な記録・報告、管理・運営、診療報酬などについて学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	作業療法の過程	講義
2)	作業療法の過程	〃
3)	作業療法の過程	〃
4)	作業療法の過程、生活行為向上マネジメント（MTDLP）概論	〃
5)	MTDLPアセスメントシート演習（個人）	演習
6)	MTDLPアセスメントシート演習（グループワーク）	〃
7)	MTDLPアセスメントシート演習（グループ発表）	〃
8)	MTDLPプランシート演習（グループワーク）	〃
9)	MTDLPプランシート演習（グループ発表）	〃
10)	EBMと作業療法、管理運営	講義
11)	医療倫理・職業倫理	〃
12)	医療安全・感染対策・ハラスメント・クリニカルパス	〃
13)	医療安全・感染対策・ハラスメント・クリニカルパス	〃
14)	記録と報告（カルテの書き方）	〃
15)	診療報酬	〃

成績評価方法
レポート課題、筆記試験、グループ発表点

教科書・授業資料
長崎重信監修：ゴールドマスターテキスト 作業療法概論. 改訂第2版, メディカルビュー社, 2015.

参 考 書
杉原 素子・編：作業療法学全書 第1巻 作業療法概論. 第3版, 協同医書出版, 2010.

準備学習等

担当者からのメッセージ
グループワークが多いです。能動的に授業に参加して下さい。

担当教員への連絡法
教員室を訪ねて下さい。

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
基礎作業学講義	講義	1年次・1～3学期	1(30)

担当者
常久 謙太郎・他

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

各種の作業活動について分析し、作業遂行に必要な要素や特徴について説明できる。
作業療法に関する基礎理論について知り、臨床場面での利用方法を理解できる。

講義概要

作業療法に関する基礎理論について学習し、作業の持つ要素や、作業が心身に与える影響について講義やグループワーク、体験実習を通じて考察する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1学期　オリエンテーション、1章　総論	講義
2)	2章　作業分析	講義
3)	作業分析の目的と方法	講義
4)	作業分析の目的と方法	講義
5)	作業分析の報告（発表）	発表
6)	2学期　　2章　作業の治療への適応	講義
7)	作業の治療への適応	講義
8)	学習理論と指導法	講義
9)	学習理論と指導法	講義
10)	指導法の実技テスト	発表
11)	3学期　諸理論と作業	講義
12)	生活行為向上マネジメント　概論	GW
13)	生活行為向上マネジメント　演習	GW
14)	生活行為向上マネジメント　演習	GW
15)	生活行為向上マネジメント　演習	GW

成績評価方法
筆記試験（各学期20点ずつ、試験内容には基礎作業学実習を含む）、指導法実技テスト20点、生活行為向上マネ

教科書・授業資料　資料プリント

浅沼 辰志・編：作業学 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト. 第2版, メジカルビュー社, 2015.

参 考 書

準備学習等
自分自身や周りの人が何を目的としてどんなことをしているか、その活動を行うために何が必要になるか考えてみてください。

担当者からのメッセージ

難しい話もするかもしれませんが、体験を通じて考えて理解する内容にしたいと考えています。

担当教員への連絡法

教員室を訪ねて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
基礎作業学実習	実習	1年次・通年	1(45)

担当者
山下徹郎・常久謙太郎・他

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
各種の作業活動を体験し、作業工程、道具、材料、心身への影響などについて説明できる。
包括的作業分析を通じて、作業の特徴、必要な心身機能、社会的な意味などについて説明できる。
提出期限を守り、報告・連絡・相談が行える。

講義概要
各種の作業活動を経験（作品制作）する。
各作業の工程や方法、臨床場面での用い方について学習する。
作業に含まれる様々な要素を分析する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1学期	グループ実習
2)	各種の作業活動を体験し作品を制作して提出する	作品提出
3)	革細工、マクラメ、木工、陶芸、レクリエーションなど	分析レポート
4)		
5)		
6)	作業分析	
7)	2学期	
8)	各種の作業活動を体験し作品を制作して提出する	
9)	籐細工、ペーパークラフト、おもちゃ作り、編み物など	
10)		
11)		
12)	作業分析	
13)	3学期	
14)	包括的作業分析	
15)		

成績評価方法
作品提出60点、作業分析レポート40点、いずれも実習中の態度を含む

教科書・授業資料　プリント配布

浅沼 辰志・編：作業学 作業療法学ゴールド•マスター•テキスト. 第2版, メジカルビュー社, 2015.

参 考 書

準備学習等
各グループで授業の約1週間前に担当教員に事前準備について確認すること。

担当者からのメッセージ
将来、作業療法士として対象者に対して指導しなければならないことを考えて、実習に臨んでください。

担当教員への連絡法
約1週間前に担当教員と連絡をとる。

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
評価学 I	講義	1年次・1,2学期	2(30)

担当者

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

講義概要

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	62 頁『評価学 I 』参照	

成績評価方法

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
評価学Ⅱ	講義	1年次・3学期	1(30)

担当者

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

講義概要

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	63 頁『評価学Ⅱ』参照	

成績評価方法

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
評価学Ⅲ	講義	1 年次・3学期	1(15)

担当者
有安 芽衣・阿部 沙耶香

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・精神障害作業療法の一般的な評価法について列挙し、分類できる。
・観察法、面接法が実施できる。

講義概要

精神障害作業療法に関わる一般的な評価法について学習し、基本的技法である観察法・面接法を経験する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	総論①（精神機能の評価について）	講義
2)	総論②（精神機能の評価について）	〃
3)	各論①（面接）	〃
4)	各論②（面接）	〃
5)	各論③（観察）	〃
6)	各論④（観察）	〃
7)	各論⑤（問診）	グループワーク
8)	各論⑥（問診）	〃
9)	各論⑦（作業面接）	〃
10)	各論⑧（作業面接）	〃
11)	各論⑨（観察）	〃
12)	各論⑩（観察）	〃
13)	各論⑪（観察）	〃
14)	各論⑫（心理検査、精神症状検査、職業関連評価、社会機能評価集団評価）	講義
15)	各論⑬（心理検査、精神症状検査、職業関連評価、社会機能評価集団評価）	〃

成績評価方法
課題提出、筆記試験などを考慮して総合的に評価する。

教科書・授業資料

山根 寛：精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践. 三輪書店, 2017.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

行動観察の目を養いましょう。まずは、周囲の人物ウオッチングから始めてみるのも手です。

担当教員への連絡法

講義中、あるいは教員室へ来てください。

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	評価学基礎実習	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		実習	1年次・2学期	1(45)

担当者

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

講義概要

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	65 頁『評価学基礎実習』参照	

成績評価方法

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
精神障害治療学 I	講義	1年次・2学期	2(30)

担当者
有安 芽衣

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
・精神障害の特徴、精神障害リハビリテーションの重要な概念を説明できる。
・精神障害を持つ人々に対する効果的な支援とは何か説明できる。
・精神障害作業療法の治療的要因について説明できる。

講義概要
精神疾患・精神障害に関する知識を習得し、精神障害リハビリテーションの概要を知る。
当事者にとって必要な支援とはなにかを考える。
精神障害リハビリテーションにおける作業療法の役割とその治療的要因についての理解を深める。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1章　ひとと病い	講義
2)	1章　ひとと病い・2章　精神の病と作業療法	〃
3)	3章　精神障害に対する作業療法の視点	〃
4)	3章　精神障害に対する作業療法の視点	〃
5)	6章　作業療法の実践	〃
6)	6章　作業療法の実践	〃
7)	6章　作業療法の実践	〃
8)	6章　作業療法の実践	〃
9)	6章　作業療法の実践	〃
10)	6章　作業療法の実践	〃
11)	4章　作業療法の治療・援助構造と治療機序	〃
12)	4章　作業療法の治療・援助構造と治療機序	〃
13)	4章　作業療法の治療・援助構造と治療機序	〃
14)	疾患調べ	グループワーク
15)	疾患調べ	〃

成績評価方法
課題提出、筆記試験などを考慮して総合的に評価する。

教科書・授業資料
山根 寛：精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践. 三輪書店, 2017.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ
まずは、精神の病・障害についての正しい知識を持ちましょう。

担当教員への連絡法
講義中、あるいは教員室へ来てください。

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
精神障害治療学Ⅱ	講義	2年次・1学期	1(30)

担当者
香川 五百里

実務経験の内容内容　病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・精神障害作業療法に関する代表的な理論・技法について理解する。
・治療的関わりについて理解する。　・疾患別作業療法の基本的な内容について説明できる。

講義概要

評価学Ⅲ、精神障害治療学Ⅰを基礎に、臨床に関連する理論・技法を習得し、疾患別の作業療法について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	理論・技法①（精神分析理論、発達理論、学習理論、集団理論など）	講義
2)	理論・技法②（行動療法、SST、レクリエーション療法など）	〃
3)	理論・技法③（精神療法的態度、治療的関わり）	〃
4)	理論・技法④（精神療法的態度、治療的関わり）	〃
5)	疾患別作業療法①（統合失調症）	〃
6)	疾患別作業療法②（統合失調症）	〃
7)	疾患別作業療法③（統合失調症）	〃
8)	疾患別作業療法④（気分障害）	〃
9)	疾患別作業療法⑤（気分障害）	〃
10)	疾患別作業療法⑥（気分障害）	〃
11)	疾患別作業療法⑦（神経症性障害）	〃
12)	疾患別作業療法⑧（神経症性障害）	〃
13)	疾患別作業療法⑨（神経症性障害）	〃
14)	疾患別作業療法⑩（依存症）	〃
15)	疾患別作業療法⑪（依存症）	〃

成績評価方法
出席状況、課題提出、筆記試験などを考慮して総合的に評価する。

教科書・授業資料
山根 寛：精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践. 三輪書店, 2017.
富岡詔子・他：作業療法学全書 第５巻 作業治療学２ 精神障害. 第３版, 協同医書出版社, 2010.

参 考 書
香山明美・他：生活を支援する 精神障害作業療法 急性期から地域実践まで.第2版,医歯薬出版,2014.
朝田隆ほか：精神疾患の理解と精神科作業療法.第2版,中央法規,2012.

準備学習等

担当者からのメッセージ
「治療的関わり」とは何か？このことを意識しながら講義に参加して下さい。

担当教員への連絡法
講義前後に来てください。

科目名	精神障害治療学Ⅲ	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1,2学期	1(30)

担当者
有安 芽衣・大野 宏明・阿部 沙耶香

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・疾患別作業療法の基本的な内容について説明できる。　・作業療法プロセスの実際について把握する。
・評価・治療に必要な知識／技術について習得し、模擬的に実施できる。

講義概要

評価学Ⅲ、精神障害治療学ⅠⅡを基礎に、疾患別の作業療法について学習する。また、模擬的に作業療法プロセスを体験し、より実践的な知識と技法を習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	精神障害作業療法評価	講義、グループワーク
2)	精神障害作業療法評価	〃
3)	精神科POS（SOAP）、経過記載上の留意点	〃
4)	症例報告書の実際	〃
5)	評価・検査法	〃
6)	地域生活支援	〃
7)	就労支援	〃
8)	家族支援	〃
9)	疾患別作業療法（アスペルガー症候群、注意欠陥多動症）	〃
10)	疾患別作業療法（摂食障害）	〃
11)	疾患別作業療法（パーソナリティ障害）	〃
12)	疾患別作業療法（てんかん、知的障害）	〃
13)	疾患別作業療法（器質性精神障害）	〃
14)	集団活動・レクリエーション	〃
15)	話題のキーワード	〃

成績評価方法
出席状況、課題提出、筆記試験などを考慮して総合的に評価する。

教科書・授業資料

富岡詔子・他：作業療法学全書 第５巻 作業治療学２ 精神障害. 第３版, 協同医書出版社, 2010.

参 考 書
山根 寛：精神障害と作業療法 病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践. 三輪書店, 2017.
香山明美・他：生活を支援する 精神障害作業療法 急性期から地域実践まで.第2版,医歯薬出版,2014.

準備学習等

担当者からのメッセージ

講義順序が入れ替わる可能性があります。

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
身体障害治療学 I	講義	2年次・1学期	2(30)

担当者
山下 徹郎

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
脳血管障害、失調症、パーキンソン病、多発性硬化症についての臨床像を理解する。
疾患が生活に及ぼす影響について学習する。
各疾患に対する医学的治療や作業療法の評価、治療、指導、援助内容を理解する。

講義概要
脳血管障害、失調症、パーキンソン病、多発性硬化症についての臨床像を学び、作業療法士としての治療、指導、援助について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	脳血管障害の症状と医学的治療について	講義
2)	脳血管障害の症状と医学的治療について	〃
3)	作業療法評価（画像所見について）	〃
4)	作業療法評価、治療、指導、援助（筋緊張、運動麻痺）	〃
5)	作業療法評価、治療、指導、援助（運動麻痺）	〃
6)	作業療法評価、治療、指導、援助（感覚障害、ROM）	〃
7)	作業療法評価、治療、指導、援助（筋力、バランス）	〃
8)	作業療法評価、治療、指導、援助（ADL）	〃
9)	作業療法評価、治療、指導、援助（ADL、IADL）	〃
10)	時期別の作業療法の関わりについて	〃
11)	失調症の症状、作業療法評価（機能、活動、参加レベルについて）	〃
12)	失調症の治療、指導、援助	〃
13)	パーキンソン病の症状、作業療法評価（機能、活動、参加レベルについて）	〃
14)	パーキンソン病の作業療法の治療、指導、援助	〃
15)	多発性硬化症の症状、作業療法の評価、治療、指導、援助	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料　1) 山口昇・編：標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学. 第3版, 医学書院, 2016.
2) 正門由久・他：脳卒中 基礎知識から最新リハビリテーションまで. 医歯薬出版, 2019.
3) 酒向正春・監：コツさえわかればあなたも読める リハに役立つ脳画像. メジカルビュー, 2016.

参 考 書
潮見泰造、下田信明・編：PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学. 羊土社, 2014.

準備学習等
中枢神経系の解剖と機能について復習しておくこと。

担当者からのメッセージ
身体障害の分野で関わる機会の多い疾患です。基本的な作業療法評価、治療、援助について学習していきます。

担当教員への連絡法
教員室に。講義中でも可能。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
身体障害治療学Ⅱ	講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
阿部　菜海子

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
・高次脳機能障害について説明ができる。
・主な高次脳機能障害の特徴が説明でき、責任病巣が説明できる。
・臨床場面における症状の評価内容の選択ができるようになる。

講義概要

各種高次脳機能障害について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	高次脳機能障害総論	講義
2)	高次脳機能障害の評価	〃
3)	注意障害	〃
4)	注意障害	〃
5)	注意障害・見当識障害・意識障害	〃
6)	記憶障害	〃
7)	記憶障害	〃
8)	失行（観念失行・観念運動失行・肢節運動失行・着衣失行・構成失行）	〃
9)	失認（視覚性：物体・相貌・色彩）	〃
10)	失認（視空間：半側視空間・地誌・バリント症候群）	〃
11)	失認（その他：聴覚・触覚・身体・手指・左右）	〃
12)	遂行機能障害	〃
13)	その他の前頭葉症状	〃
14)	頭部外傷総論	〃
15)	高次脳機能障害と自動車運転	〃

成績評価方法
筆記試験・レポート課題

教科書・授業資料

能登真一：標準作業療法学　専門分野　高次脳機能作業療法学　第２版．医学書院，2019.

参 考 書
石合純夫：高次脳機能障害学　第２版．医歯薬出版，2012.
田崎 義昭・他：ベッドサイドの神経の診かた.第18版,南山堂,2016

準備学習等

脳の機能局在など解剖・生理学などの脳に関する範囲を復習しておいて下さい。

担当者からのメッセージ
見た目に分かりにくい症状もありますが、臨床上大きく影響する症状です。興味を持ってもらえればよいと思っています。

担当教員への連絡法

教員室に。講義中でも可能です。

科目名	身体障害治療学Ⅲ	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・2学期	1(15)

担当者
狩屋 俊彦・山下 徹郎

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

頭部外傷および高次脳機能障害の臨床像を説明できる。高次脳機能障害の各種評価法を説明できる。
頭部外傷および高次脳機能障害に対する主要な検査を実施でき、治療・援助について説明できる。

講義概要

主要な高次脳機能障害の臨床像について学び、各種評価および治療・援助方法を知る。
頭部外傷によっておこりやすい高次脳機能障害について学び、評価・治療・援助について知る。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	高次脳機能障害総論	講義
2)	頭部外傷の作業療法	〃
3)	社会的行動障害に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
4)	失行に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
5)	遂行機能障害に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
6)	失認に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
7)	半側空間無視に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
8)	記憶障害に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
9)	注意障害に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
10)	失語に対する作業療法の評価・治療・援助	〃
11)	神経心理学検査の体験	演習
12)	〃	〃
13)	〃	〃
14)	〃	〃
15)	補充	講義

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
長崎重信・監修：高次脳機能障害作業療法学. 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト, 第2版, メジカルビュー, 2016.

参 考 書
椿原彰夫・他：リハビリナース、PT、OT、STのための患者さんの行動から理解する高次脳機能障害. 第2版, メディカ出版, 2018.

準備学習等

身体障害治療学Ⅱの復習。

担当者からのメッセージ
高次脳機能障害は、徐々に社会にも認知され始めています。作業療法の対象となることが多い障害ですので、評価、治療、援助できるように学習してください。

担当教員への連絡法

教員室に。講義中も構いません。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
身体障害治療学Ⅳ	講義	2年次・2学期	1(30)

担当者
松本 琢磨・守山 峻

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

脊髄損傷をはじめとする各疾患の特徴を把握し、作業療法の評価、治療、援助について理解する。

講義概要

各疾患の基礎知識や症状を理解し、実際の作業療法の援助について学習する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	脊髄損傷の症状、合併症とその対策	講義
2)	脊髄損傷の症状、合併症とその対策	〃
3)	脊髄損傷の作業療法評価	〃
4)	脊髄損傷の作業療法、援助	〃
5)	脊髄損傷の作業療法、援助	〃
6)	末梢神経損傷の作業療法評価	〃
7)	末梢神経損傷の作業療法、援助	〃
8)	がんの作業療法	〃
9)	がんの作業療法	〃
10)	筋萎縮性側索硬化症の作業療法	〃
11)	循環器疾患の作業療法	〃
12)	循環器疾患の作業療法	〃
13)	呼吸器疾患の作業療法	〃
14)	呼吸器疾患の作業療法	〃
15)	糖尿病、腎障害、代謝障害の作業療法	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
1) 山口昇・他：標準作業療法学　身体機能作業療法学　第3版，医学書院，2016
2) 生須義久・他：心大血管疾患の作業療法. 作業療法マニュアル44, 日本作業療法士協会, 2011.　(下段にも教科書を記載)

参 考 書
3) 生須義久・他：呼吸器疾患の作業療法①. 作業療法マニュアル45, 日本作業療法士協会, 2011.
4) 生須義久・他：呼吸器疾患の作業療法②. 作業療法マニュアル46, 日本作業療法士協会, 2011.

準備学習等
筋、神経の解剖学とその運動学。
代謝、呼吸、循環の解剖学と生理学。

担当者からのメッセージ

実際の作業療法場面で必要となる基本的な内容です。積極的に学習に取り組んでください。

担当教員への連絡法

授業中もしくは職員室をたずねてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
身体障害治療学Ⅴ	講義	2年次・2学期	1(30)

担当者
常久 謙太郎

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

切断の断短長と適応となる義手の部品の名称や組合せを説明できる。上肢切断に対する作業療法を説明できる。上肢装具の名称（部品含む）と適応となる疾患について説明できる。装具の目的を説明できる。

講義概要

上肢切断に対する作業療法について次のような内容を学ぶ。
①義手の適応と構成部品の組合せ　②義手のチェックアウトと装着訓練　③上肢装具（スプリントを含む）の名称と適応

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	義手総論	講義
2)	構成部品とその特徴	〃
3)	〃	〃
4)	〃	〃
5)	切断に対する作業療法（評価・義手装着前訓練・仮義手）	〃
6)	〃	〃
7)	切断の分類と適応・義手のチェックアウト	〃
8)	電動義手総論：電動義手の各システムとその特徴	〃
9)	上肢装具総論	〃
10)	各装具の特徴と目的・適応疾患	〃
11)	〃	〃
12)	〃	〃
13)	上肢装具と作業療法	〃
14)	〃	〃
15)	義手を作ってみよう	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

古川 宏・編：義肢装具学. 作業療法学全書 第9巻 作業療法技術学1, 第3版, 協同医書出版社, 2009.

参 考 書
日本整形外科学／日本リハビリテーション医学会：義肢装具のチェックポイント.第8版,医学書院,2014.
澤村誠志：切断と義肢.リハビリテーション医学全書18,第4版,医歯薬出版,1999.

準備学習等

解剖学（骨・筋・神経・血管について）の復習。

担当者からのメッセージ
講義だけでなく、実際の義手や装具に直接触れる時間を設定します。
名称は覚えるしかありませんが、実感する経験を積んでほしいと思います。

担当教員への連絡法

教員室に来て下さい

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
身体障害治療学VI	講義	2年次・2学期	1(30)

担当者
常久 謙太郎・神野 俊克・木下 誠志

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
手の機能解剖、各疾患（大腿骨頸部骨折・THA、熱傷、腱板損傷・五十肩、関節リウマチ、上肢と手の外傷）の知識を身につける。それらの評価・治療・動作指導について学ぶ。スプリントの種類、適応、作製方法について学習する。

講義概要
各疾患の知識、評価・治療・動作指導について学習する。スプリントについては、作製ポイントや矯正過程で生じる結合組織の変化、注意点、矯正方向、強度、時間、原理を習う。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	大腿骨頸部骨折・THA	講義
2)	大腿骨頸部骨折・THA	〃
3)	熱傷	〃
4)	熱傷	〃
5)	腱板損傷・五十肩	〃
6)	手の機能解剖	〃
7)	手の機能解剖	〃
8)	手の機能解剖	〃
9)	関節リウマチ	〃
10)	関節リウマチ	〃
11)	上肢と手の外傷	〃
12)	上肢と手の外傷	〃
13)	上肢と手の外傷	〃
14)	スプリント	〃
15)	知覚・拘縮の評価	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
山口昇・他：標準作業療法学 身体機能作業療法学. 第3版, 医学書院, 2016.

参 考 書　1) 矢崎 潔：手のスプリントのすべて.第4版,三輪書店,2015. 2) 中田眞由美・他：作業療法士のためのハンドセラピー入門.第2版,三輪書店,2006. 3) 西林保朗：リハ実践テクニック 関節リウマチ. 第2版, メジカルビュー社, 2014. 4) 菅原洋子・編：身体障害. 作業療法学全書 第4巻 作業治療学1, 第3版, 協同医書出版社, 2008.

準備学習等
復習をしっかりして下さい。

担当者からのメッセージ
専門的な知識をたくさん学びます。その日学習したことは、その日のうちに理解するように努めて下さい。

担当教員への連絡法
授業中もしくは職員室をたずねてください。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
発達障害治療学	講義	2年次・3学期	2(30)

担当者
森川 芳彦・安井 美佳

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

発達障害領域で対象となる各種疾患の知識を身に付け、作業療法の評価、治療及び指導について理解する。

講義概要

脳性麻痺、重症心身障害児、筋ジストロフィー、自閉症スペクトラム、ADHDなどの特徴や症状、評価、治療について講義する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	自閉症スペクトラム（特徴、評価、アプローチ）	講義
2)	自閉症スペクトラム（特徴、評価、アプローチ）	〃
3)	学習障害（特徴、評価、アプローチ）	〃
4)	ADHD（特徴、評価、アプローチ）	〃
5)	感覚統合療法（SI）	〃
6)	地域支援	〃
7)	脳性麻痺　痙直型（特徴、評価、アプローチ）	〃
8)	脳性麻痺　痙直型　（特徴、評価、アプローチ）	〃
9)	脳性麻痺　アテトーゼ型（特徴、評価、アプローチ）	〃
10)	重症心身障害、地域支援の取り組み	〃
11)	筋ジストロフィー、分娩麻痺	〃
12)	各種検査（JMAP,JPAN,JSI-R,WISC,WIPPSI,K-ABC,フロスティーグ視知覚検査）	〃
13)	各種検査（JMAP,JPAN,JSI-R,WISC,WIPPSI,K-ABC,フロスティーグ視知覚検査）	〃
14)	各種検査の実施	〃
15)	各種検査の実施	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

上杉雅之・監：イラストでわかる 発達障害の作業療法. 医歯薬出版, 2016.

参 考 書
岩崎清隆・他：発達障害の作業療法 基礎編・実践編. 第2版, 三輪書店, 2015.
福田 恵美子・編：発達過程作業療法学. 標準作業療法学 専門分野, 第2版, 医学書院, 2014.

準備学習等

担当者からのメッセージ

範囲が広いので、習ったことはしっかり復習しましょう。

担当教員への連絡法

教員室を訪ねて下さい。

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
日常生活活動学	講義	1年次・3学期	2(30)

担当者

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

講義概要

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	81 頁『日常生活活動学』参照	

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
日常生活活動基礎実習	実習	2年次・1学期	1(45)

担当者
岡田 裕・河島 隆貴・小林 伸江・松本 晋輔・松本 琢磨

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士、理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

起居・移乗・移動動作を中心に、障害に対する動作方法・介助法について講義や実習を通して理解・習得する。

講義概要

基本動作の方法・介助法を習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1）～ ～15)	1　介助法の原理 2　リフティング 3　片麻痺の基本動作と介助法 4　整形外科疾患の基本動作と介助法 5　杖歩行とその介助法 6　車椅子移動とその介助法 7　その他	講義および実習

成績評価方法
出席状況，実習状況，筆記試験、実技試験

教科書・授業資料

柴 喜崇・他：PT・OTビジュアルテキスト ADL. 第1版, 羊土社, 2015.

参 考 書

金田嘉清・編著：PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編．金原出版，2017.

準備学習等

担当者からのメッセージ

この実習を通して、自分の身体の使い方や対象者の動きを感じる感覚を養って下さい。

担当教員への連絡法

実習の中で指示します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
技術論実習	実習	2年次・通年	1(45)

担当者
松本琢磨・他

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

作業療法実践に必要な動作分析、リスク管理、疾患別介助技能や指導法、装具関連の専門技能の基礎を習得する。

講義概要

作業療法で必要とされるセルフケアを中心に動作分析を行う。臨床上で必要なリスク管理の理解、対処法を学ぶ。障害別の動作・介助方法について学ぶ。スプリントの作製をする。吸引の手技の演習、職業適性検査の体験を行う。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	リスク管理①（転倒。転落への対応、車椅子のリスク）	動作分析、リスク管理は①〜③をローテーション
2)	リスク管理②（ルート管理、移乗動作での対応）	
3)	リスク管理③（血圧低下時の対応、バランス評価時の対応）	
4)	動作分析①（セルフケアを相分け、各動作工程の分析）	
5)	動作分析②（セルフケアを相分け、各動作工程の分析）	
6)	動作分析③（セルフケアを相分け、各動作工程の分析）	
7)	障害別の動作方法、介助方法の練習（脳血管障害）	
8)	障害別の動作方法、介助方法の練習（脊髄損傷）	
9)	障害別の動作方法、介助方法の練習（関節リウマチ）	
10)	障害別の動作方法、介助方法の練習（THA、頚部骨折）	
11)	スプリントの作製（カックアップスプリント）	
12)	スプリントの作製（短対立装具）	
13)	スプリントの作製（ダイナミックスプリント）	
14)	吸引の演習	
15)	職業適性検査の実施	

成績評価方法

出席状況、レポート、実習態度、筆記試験、実技試験

教科書・授業資料

実習開始時に資料配布

参 考 書

MMTの本、運動学、ADL、装具、スプリント等の教科書

準備学習等

何が必要となるかについて担当教員に尋ねてください。

担当者からのメッセージ

動作分析の方法は、評価・治療実習の中で活かせるようにしてください。作業療法士に必要な専門技能の修得するための実習です。積極的に参加してください。

担当教員への連絡法

担当教員を訪ねてください。

科目名	義肢装具学	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
		講義	2年次・1・2学期	1(30)

担当者
笘野 稔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

義肢装具に関する基礎的知識と適合判定について学習する。

講義概要

義肢装具の名称と適応する疾患を学ぶ。
義肢装具の基本構造を理解する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	1　総論	講義
	1.1　定義と歴史	〃
2)	2　義肢	〃
	2.1　切断の原因と切断術	〃
3)	2.2　義肢の構成部品と材料	〃
4) 5)	2.3　義足	〃
6)	2.4　義手	〃
7)	3.　装具	〃
	3.1　装具の使用目的	〃
8) 9)	3.2　下肢装具	〃
10)11)	3.3　体幹装具	〃
12)	3.4　上肢装具	〃
13)	3.5　靴型装具	〃
14)	3.6　歩行補助具	〃
15)	3.7　車椅子	〃

成績評価方法
中間試験と期末試験を行います。

教科書・授業資料

日本整形外科学/日本リハビリテーション医学会：義肢装具のチェックポイント. 第8版, 医学書院, 2014.

参 考 書

永冨 史子・編：15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 義肢学. 中山書店, 2011.

準備学習等

担当者からのメッセージ
義肢装具の形状や用いられる材質には全て意味があります。講義では図や写真を用いた説明だけでなく実物も持ち込みます。触ったり身につけたりして形状や材質の意味を考えて下さい。

担当教員への連絡法

疑問を皆で共有し解決するために、質問はできるだけ講義中に行って下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
運動療法学	講義	2年次・1学期	2(30)

担当者
松本 晋輔

実務経験の内容内容　大学病院の理学療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

運動療法の基本的理論と方法を理解･習得する。

講義概要

解剖学・生理学・運動学の知識を整理し、運動療法の基礎理論を習得する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	骨の構造と機能	講義
2)	関節の構造と機能	〃
3)	筋の構造と機能	〃
4)	神経の構造と機能	〃
5)	運動と呼吸機能	〃
6)	運動と循環機能	〃
7)	運動と代謝機能	〃
8)	運動学習	〃
9)	老化と運動機能	〃
10)	関節可動域制限に対する運動療法	〃
11)	筋力低下に対する運動療法	〃
12)	持久力低下に対する運動療法	〃
13)	バランス障害に対する運動療法	〃
14)	加齢による機能障害に対する運動療法	〃
15)	その他	〃

成績評価方法
筆記試験、出席状況

教科書・授業資料

市橋 則明・編：運動療法学 障害別アプローチの理論と実際. 第２版, 文光堂, 2014.

参 考 書

吉尾雅春・編：標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論. 第4版, 医学書院, 2016.

準備学習等

関節の構造と運動、筋収縮のメカニズム、神経生理学を中心に復習して下さい。

担当者からのメッセージ

治療の基礎となる基本的な運動療法について、まずはその理論をしっかりと理解して下さい。

担当教員への連絡法

講義の中で指示します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
地域リハビリテーションⅠ	講義	1年次・1学期	2(30)

担当者
有安 芽衣・松本 琢磨

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

地域社会における障害者（児）・高齢者に対する福祉政策の概要・サービスを学習し、地域リハビリテーションの役割についての基本的理解を図る。

講義概要

障害者（児）／高齢者に関わる法律・制度などについて学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	社会保障制度	講義
2)	医療法と関連法規	〃
3)	戦後初期・経済成長期・近年の障害者福祉政策	〃
4)	戦後初期・経済成長期・近年の障害者福祉政策	〃
5)	身体障害者福祉法，知的障害者福祉法	〃
6)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律，発達障害者支援法	〃
7)	障害者に関わる様々な法律	〃
8)	障害者総合支援法	〃
9)	障害者総合支援法	〃
10)	介護保険法	〃
11)	介護保険法	〃
12)	地域包括ケアシステム	〃
13)	グループワーク	グループワーク
14)	グループワーク	〃
15)	グループワーク	〃

成績評価方法
筆記試験とグループワーク

教科書・授業資料

社会福祉学習双書編集委員会：障害者福祉論 社会福祉学習双書2019. 全国社会福祉協議会, 2019.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ
障害者（児）／高齢者が関わる法規について理解するよう努めて下さい。
講義順序などが入れ替わる可能性があります。

担当教員への連絡法

教員室を訪ねて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
地域リハビリテーションII	講義	2年次・2学期	2(30)

担当者
木村 理恵・山田 佳奈・鷲田 明広

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

地域における対象者の生活環境について、リハビリテーションに必要な評価や治療計画などとの関係を説明できる。

講義概要

各種リハビリテーション関連機器の適応や使い方、必要な物理的環境について学ぶ。
利用できる各種の制度について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	生活環境整備 ① 総論	講義
2)	生活環境整備 ② 各論 1	〃
3)	生活環境整備 ③ 各論 2	〃
4)	生活環境整備 発表 ①	発表
5)	生活環境整備 発表 ②	発表
6)	福祉用具 ①	講義
7)	福祉用具 ②	〃
8)	福祉用具 ③	〃
9)	福祉用具 ④	〃
10)	福祉用具 見学	見学
11)	職業リハビリテーション ①	講義
12)	職業リハビリテーション ②	〃
13)	職業リハビリテーション ③	〃
14)	職業リハビリテーション ④	〃
15)	職業リハビリテーション ⑤	〃

成績評価方法
筆記試験、出席状況、発表

教科書・授業資料
1) 野村 歡・他：OT・PTのための住環境整備論. 第2版, 三輪書店, 2012.
2) 平賀昭信・他編：職業関連活動. 作業療法学全書, 第12巻, 作業療法技術学4, 第3版, 協同医書, 2009.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
地域リハビリテーションⅢ	講義	2年次・1学期	1(15)

担当者
楢原 伸二

実務経験の内容内容　病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

地域リハビリテーションの主要な対象である認知症高齢者に対する作業療法の知識・技術を習得する。

講義概要

認知症高齢者に関わる現場の作業療法士から評価・支援について学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1)	高齢者の特徴	講義
2)	〃	〃
3)	認知症についての基礎知識	〃
4)	〃	〃
5)	〃	〃
6)	認知症高齢者の理解	〃
7)	〃	〃
8)	〃	〃
9)	認知症高齢者の支援	〃
10)	〃	〃
11)	〃	〃
12)	認知症高齢者のリハビリテーション	〃
13)	〃	〃
14)	〃	〃
15)	〃	〃

成績評価方法
筆記試験

教科書・授業資料
配布資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床見学実習	実習	1年次・通年	1(45)

担当者
山下徹郎・他

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

・必要な報告・連絡・相談が行えるようになる。
・患者に対して適切な接遇が実践できる。
・自己学習の方法を学び、実践する。
・見学内容を記載できる。

講義概要

教員による説明を受けながら、リハビリテーションセンターで実際に行われている作業療法を見学し、評価・観察・援助の考え方や方法を学ぶ。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1)事前学習 ・疾患調べ ・ノートの記載方法 2)臨床見学 ・治療場面の見学 3)事後学習 ・見学内容をまとめる ・個別指導	見学実習 演習

成績評価方法
出席状況、実習状況、課題の提出

教科書・授業資料

状況に合わせて指示します。

参 考 書

状況に合わせて指示します。

準備学習等
事前に担当教員と連絡をとり、症例の情報、見学日時を確認すること。
見学させていただく症例に基づいて必要な学習を進めること。

担当者からのメッセージ
よく見て、感じて行動してください。患者さまと関わることのできる折角の機会ですので、積極的に取り組んで下さい。

担当教員への連絡法

教員室で随時対応します。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床実習Ⅰ	実習	2年次・通年	5(225)

担当者
山下 徹郎・他

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標
1.職業人として望ましい行動をとれる。　2.患者に合わせた評価が指導の下実施できる。
3.必要な作業療法プログラムを指導の下立案、実施できる。4.指導の下ICFを基に統合と解釈できる。
5.必要なことを自己学習できる。　6.患者に関して知り得た情報を適切に管理できる。

講義概要

教員の指導の下に患者様に評価、治療を立案し実践する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	1学期　評価実習　4～7月　1回/週 ・基本情報、医学情報を収集する。 ・評価計画を立案し、必要な準備をする。 ・評価を実施し、結果をまとめ考察する。 ・指導を受け、再考して次回の準備を行う。 2学期　治療実習　9～12月　2回/週 ・1学期の内容と評価は同様。 ・目標に沿った作業療法プログラムを立案し、準備する。 ・プログラムを実施し、臨床経過をまとめ、考察する。 ・プログラムの治療的要素について分析する。 ・指導を受け再考して、次回の準備を行う。 3学期　分析実習　1～3月　2回/週 ・２学期の内容に加えて、治療の文献的考察と再考を行う。 精神科評価実習　7月末もしくは1～3月に計7日間 ・学校外の実習施設において実習する。 ・評価に必要な情報を収集し、結果をまとめて考察する。 ・指導を受け再考して、次回の準備を行う。	実習中の課題 ・臨床実習 ・実習ノート ・レジュメ ・症例報告書 などの作成 実習を行っていない期間の課題 ・疾患学習と作業療法評価立案 ・paper patientを用いて統合と解釈、目標立案 ・アセスメントシートの作成 ・チェックリストを用いた実技練習

成績評価方法
出席状況，実習状況，レポート，症例報告書、実技テスト

教科書・授業資料
金田嘉清・他：PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編. 金原出版, 2017.

参 考 書

準備学習等
評価学・治療学の復習をよくしておいてください。

担当者からのメッセージ
積極的に取り組んでください。

担当教員への連絡法
担当教員を訪ねて下さい。

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床実習Ⅱ	実習	3年次・通年	18(900)

担当者
阿部 菜海子・他

実務経験の内容内容　病院等の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

指導作業療法士の責任と指導の下に、偏りなく各疾患、各病期、各年齢層の患者について身体的、心理的、社会的状況を十分把握し、作業療法を行う。

講義概要

学外の実習施設にて、各施設の指導作業療法士の責任と指導の下に、患者様の評価・治療を行う。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
	冊子『臨床実習の記録』参照	実習

成績評価方法
出席状況、実習状況、レポート、症例報告書

教科書・授業資料

金田嘉清：PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編．金原出版，2017.

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

専門分野(作業療法学科)　☑ 実務経験のある教員等による授業科目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
臨床実習特論	演習	3年次・通年	2(30)

担当者
常久謙太郎・他

実務経験の内容内容　大学病院の作業療法士として勤務

授業のねらい・到達目標

基礎から実践までの知識を復習し、国家試験受験への足がかりとする。

講義概要

臨床実習で経験した症例について報告し、作業療法の内容を討議する。
教員による要点のおさらい。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
12時間	症例発表会・研究発表会（4時間×3回）	演習・発表
8時間	各種疾患・障害に対する作業療法のポイント講義	講義
10時間	グループ学習会	グループ学習

成績評価方法
国家試験形式の試験を複数回実施する。

教科書・授業資料

参 考 書

準備学習等

担当者からのメッセージ

担当教員への連絡法

学 則 外 科 目

科目名	授業形態	開講年次・学期	単位 (時間)
作業療法研究法	講義	2年次・1,2学期	1(15)

担当者
小林 伸江・森川 芳彦

実務経験の内容内容

授業のねらい・到達目標

作業療法分野の専門家として、研究する意義と必要性を考える。
研究に必要な思考過程や倫理観を学ぶ。

講義概要

研究デザインについて学ぶ。統計の基本と解釈について学ぶ。
身近な疑問を整理し、研究計画を立案し、実際に研究を体験する。
研究結果をまとめ、発表する。

回	授業計画・学習の主題	学習方法・課題
1）	研究の意義と必要性について	講義
2）	研究の流れ、研究疑問の整理の仕方	〃
3）	具体的な研究の形	〃
4）	具体的な研究の形	〃
5）	研究デザインによる分類	〃
6）	研究デザインによる分類	〃
7）	研究倫理	〃
8）	統計の基礎	〃
9）	統計の基礎	〃
10）	研究テーマの発見	グループワーク
11）	文献レビューの体験	〃
12）	研究計画書作成	〃
13）	研究の実施	〃
14）	研究の実施	〃
15）	発表	〃

成績評価方法

参加状況、レポート点、発表点

教科書・授業資料

正井栄一　他：医学・保健学のためのやさしい統計学. 改定第3版, 金原出版, 2013.

参 考 書

日本作業療法士協会:作業療法研究法マニュアル　量的研究と質的研究.三報社印刷株式会社,2014. 対馬栄輝:医療系研究論文の読み方・まとめ方.東京図書,2013. 勝平純司:すぐできる！リハビリテーション統計改定第2版.南江堂,2019.

準備学習等

臨床見学や評価・治療実習での疑問を日頃から整理しておいてください。

担当者からのメッセージ

研究を体験して下さい。計画的に行動しましょう。
授業の復習をしましょう。

担当教員への連絡法

各グループの指導教員と密に連絡を取り、進行状況の報告と質問を行ってください。